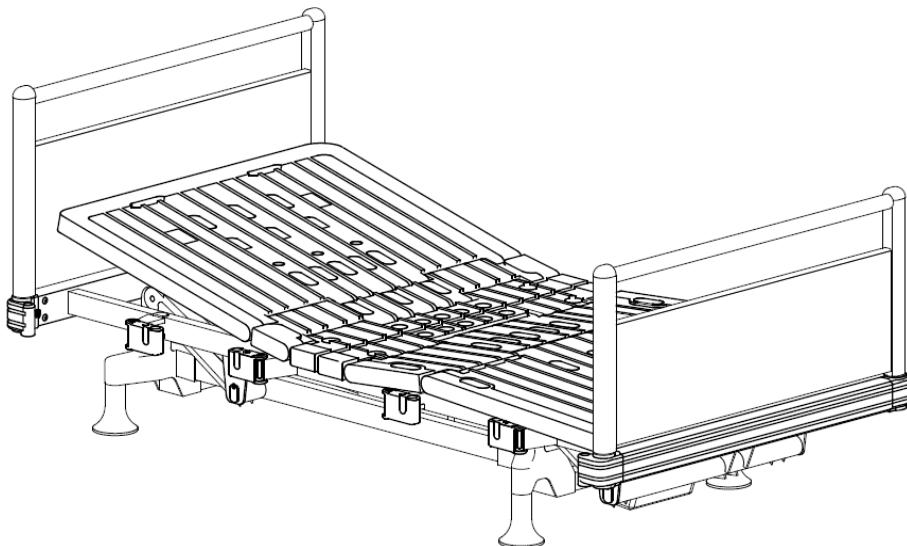


フランスベッド

取扱説明書

852560-8900

FBN-R20SS/R30SS



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための、注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

ベッド本体以外の取扱商品について

- ベッド本体以外のベッド用グリップ等、オプション品については、オプション品に同梱されている取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、ベッド本体の取扱説明書といっしょに、所定の場所に保管してください。

目次

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	3
2. 各部の名称	9
3. 部品の確認	10
4. ベッドの設置	13
5. ベッドの組立手順	13
6. 使用方法	20
7. リフトの利用について	26
8. サイドレールとベッド用グリップについて	27
9. マットレスについて	41
10. ベッドフレームの分解方法	42
11. 仕様	44
12. お手入れ方法	46
13. 点検	48
14. 消耗部品	50
15. 耐用期間	50
16. こんなときには	51
17. 停電により停止したときに	53
18. アフターサービスについて	54
19. 保証書	55

1. 安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。

その指示と内容は、次のようになっています。

内容をよく理解してから本文を読んでください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (～しないでください)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 (～してください)
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

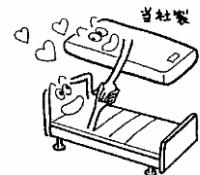
設置する時

⚠ 注意

<p>ベッドの組み立て、分解は必ず弊社サービスマン、または販売店におまかせください。ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。</p>	
<p>部屋の中でコンセントの位置、家具の引出、扉等の開閉などに支障がないことを確認してください。</p> <p>ベッドを組み立ててからの移動は困難になります。</p>	
<p>ベッドは、室内の突起物のない水平な場所で使用してください。</p> <p>平坦な場所以外、屋外、風呂場などで使用するとガタツキ、変形、故障、事故の原因となります。</p>	
<p>ベッドの重量に十分耐えられる床の強度を確保してください。</p> <p>また、床の材質によっては、ベッドフレーム設置面が傷つくことがありますので、極力カーペット類を使用して、床面の保護を行ってください。</p>	
<p>ヘッドボード、フットボード、脚部は確実に固定してください。</p> <p>思わぬ時に外れてケガをする恐れがあります。</p>	
<p>ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベッドの頭側／脚側（長手方向）：10cm以上 ● ベッドの両側（サイド）：5cm以上 <p>ベッドの動きにより周囲のものを破損したり、事故や故障の原因となります。</p>	
<p>高温、多湿な場所は避けてください。</p> <p>反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。</p>	
<p>直射日光やエアコンからの風が直接当る場所は避けてください。また、ストーブなどの熱器具、および火種になるものはベッドの近くに置かないでください。</p> <p>変形、変色、劣化、火災の原因になります。</p>	

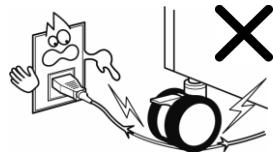
必ずベッドの仕様に合った、弊社製のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを使用してください。本取扱説明書に記載されている適合するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを確認してください。

他社製品を使用すると、破損してケガをする恐れがあります。



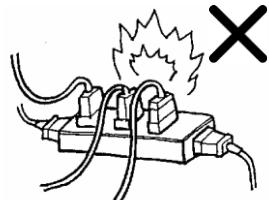
電源コードの上に重いものをのせたり、コードがベッドの下敷きにならないようにしてください。

コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。



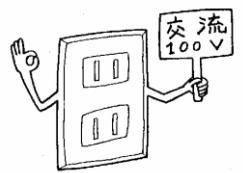
電源プラグは直接コンセントに差し込み、コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続（たこあし配線）しないでください。

火災の原因になります。



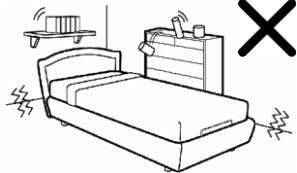
交流 100V、50／60Hz 以外の電源で使用しないでください。

火災、感電の原因となります。



ベッド設置場所の上部に落下物を置かないでください。

地震時などに落下物でケガをする原因になります。



使用する時

⚠ 警告

症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、昇降）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。使用に際しては、医師の指示に従ってください。

事故の原因となります。



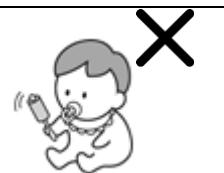
このベッドは身長 150 cm 以下の方を想定してつくられたベッドです。

ベッドのサイズが合わないと思わぬ事故の原因とあります。



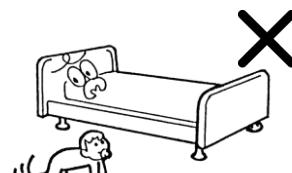
新生児など背上げ動作、脚上げ動作に危険を伴う場合は使用しないでください。

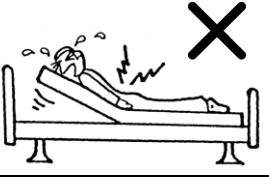
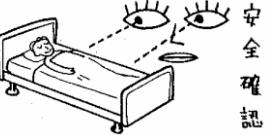
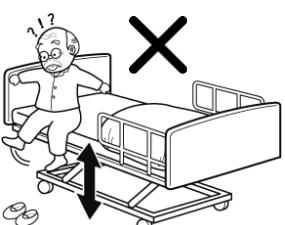
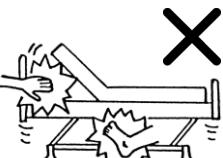
思わぬ事故の原因となります。



子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。

思わぬ事故の原因となります。



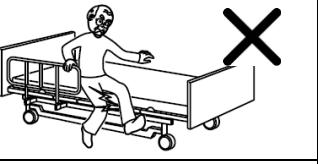
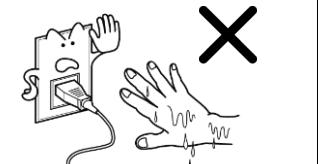
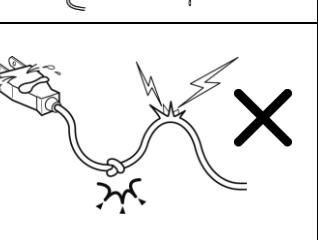
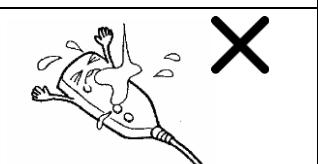
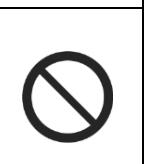
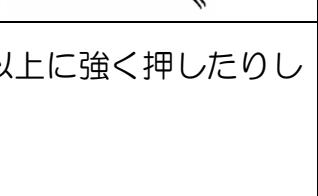
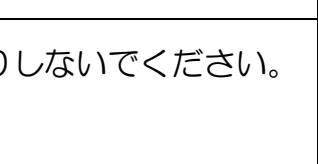
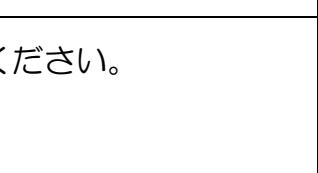
<p>背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。 これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に無理がかかります。</p>	
<p>手元スイッチでベッドの操作をする時には、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やものの安全を確認するとともに、足元等にも注意しながら行ってください。また、なんらかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止してください。特にサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。</p> <p>人がケガをしたり、ものが破損するなど、事故の原因となります。</p>	
<p>移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調節して使用してください。 思わぬケガをする恐れがあります。</p>	
<p>ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。また、付き添いの方がいない場合は、安全のため最も低い位置でのご使用をおすすめします。</p> <p>ベッドの高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒する恐れがあります。</p>	
<p>手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状況などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなると思われる人には、操作をさせないでください。 誤った操作による事故の原因となります。</p>	
<p>12歳以下の子供や、取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人には、操作をさせないでください。 取扱説明書や注意ラベル、警告ラベルには安全に使用する上で重大なことが書かれており、この内容が理解できない人が操作しますと、事故の原因となります。</p>	
<p>ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体を入れないでください。取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人が不用意に使用してしまう事が想定される場合は、挟み込み予防のため手元スイッチの安全スイッチをOFFにし、操作を禁止してください。</p> <p>挟まれてケガをする恐れがあります。</p>	
<p>サイドレールやヘッドボード、フットボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。</p>	

<p>ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。</p>	
<p>本製品は1人用です。2人以上で使用しないでください。 重大な事故の原因になります。</p>	
<p>モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。 故障の原因となります。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。</p>	
<p>ベッド以外の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下や中に通さないでください。 キャスターや可動部にコードがはさまれて破損し、火災・感電の原因となります。</p>	
<p>使用荷重は最大1700N（約170kg）です（使用者の最大体重は約135kgです）。体重とマットレスと付属品を含めた荷重が1700Nを超えるときは、使わないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因となります。</p>	
<p>ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。 火災や事故の原因となります。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。</p>	

⚠ 注意

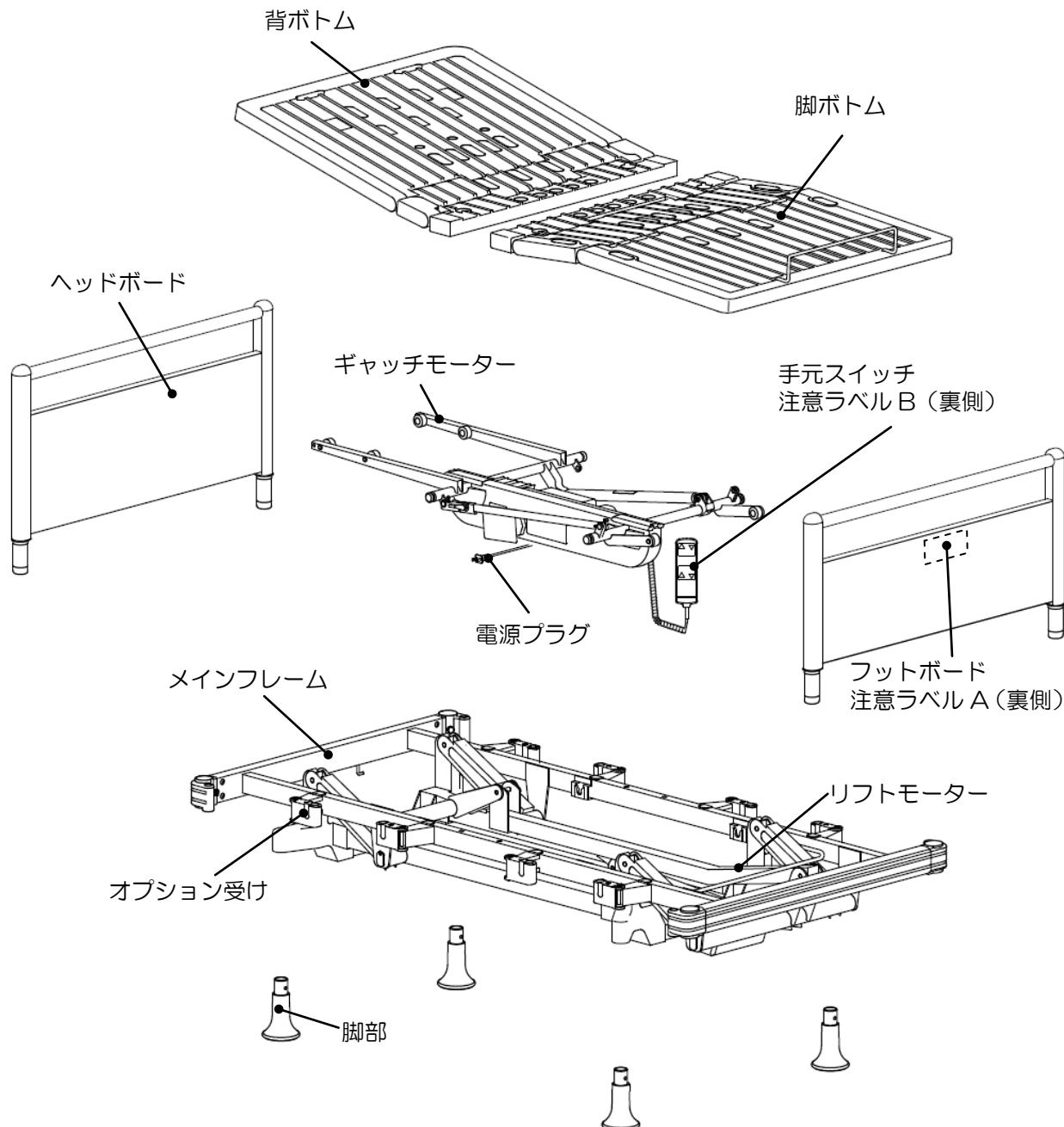
<p>動作しないなど異常の時は、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。</p>	
--	---

<p>電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。</p>	
<p>電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。 コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。</p>	
<p>ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。 ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。</p>	
<p>電源コードが傷んだり（芯線の露出、断線など）、動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>	
<p>手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて1つずつ押してください。 複数のボタンを同時に押したり、不必要的ボタンを押すと思わぬ動きをし、乗っている人や周囲の人のがケガをする恐れがあります。</p>	
<p>手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールやベッド用グリップの外側にかけてください。 ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作する恐れがあります。</p>	
<p>操作を禁止する場合は手元スイッチ裏面の安全スイッチを「OFF」または「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。 無意識にボタンに触れて誤動作する恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。</p>	
<p>頭側もしくは脚側から介助する場合は、必ずヘッドボード、フットボードを取り外してから行ってください。 ヘッドボード、フットボードに負荷がかかり、ベッドが破損する恐れがあります。</p>	
<p>ベッドから降りる際は、なるべく背上げした状態で行ってください。特に足腰に不安がある方はベッド用グリップの併用をおすすめします。</p>	
<p>ベッドから乗り降りする時は、マットレス両脇にあるマットサイドSTに衣類を引っかけないように注意してください。 ケガの原因となります。</p>	

<p>衣服がめくれ上がった状態で乗り降りしないでください。 ケガをする恐れがあります。</p>		
<p>ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。</p>		
<p>濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電する恐れがあります。</p>		
<p>電源や手元スイッチのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。</p>		
<p>モーター や手元スイッチ、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。</p>		
<p>手元スイッチのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。 ボタンが破損するなどの原因となります。</p>		
<p>手元スイッチを落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。</p>		
<p>ヘッドボードやフットボードを持ってベッドを引きずらないでください。 ベッドが破損する恐れがあります。</p>		

2. 各部の名称

- ベッドには、図のように注意ラベルがあります。使用前に位置と内容を確認してください。



- 注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示しております。
- はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

注意ラベル A

△警告

- 頭、腕及び足をサイドレールから出したまま背上げ、脚上げ操作をしないで下さい。
- 各部を操作する時はフレームに身体、手足、指を挟まないように注意して下さい。
- サイドレール及びベッド用グリップ、マットレスは、必ず取扱説明書に記載のものを使用して下さい。
- 背上げや脚上げ状態で、背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないで下さい。
- このベッドは一人用です。二人以上でお使いにならないで下さい。
- 安全使用荷重は1700N(約170kg)です。(使用者は約135kg)。それを超える荷重で使用しないで下さい。
- 幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には操作をさせないで下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。

注意ラベル B

△警告

- ◆ 操作をする前に、ベッドの下部や周囲の安全を確認してください。
- ◆ 操作を禁止する場合や操作しない場合は、安全スイッチの ▲ を □ へ合わせてください。
- ◆ ランプが点滅した際は、取扱説明書をご参照ください。

3. 部品の確認

- 梱包箱の中から部品を取り出した後、部品がそろっていること、破損がないことを確認してください。
- もし、足りないものや、破損している部品があった場合は、販売店に連絡してください。
- 最小のユニット単位で部品に商品ラベルが貼られています。商品ラベル名称を確認してください。
- 本製品の本体ならびに取扱説明書に記載しております組み合わせ（本体ならびにサイドレール、ベッド用グリップ）以外でご使用になった場合は、JIS マーク表示制度の対象外となりますので、詳しくは販売店に確認してください。

メインフレーム

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (cm) ／重量
1	メインフレーム	ヒューマンケア メインフレーム SS		1	189×104×29 /54 (kg)
	取扱説明書	なし		1	
	ギャッチストッパー	なし		4	
	チューブグリス	なし		1	
	コードサドル	なし		2	
	六角レンチ (対辺 4)	なし		1	

ボトム

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (cm) ／重量
1	背ボトム 脚ボトム	ヒューマンケア トコイタ SS		1	100×86×14 ／16 (kg)

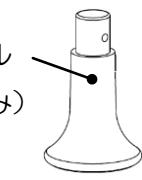
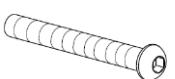
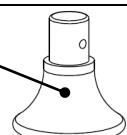
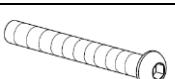
ギャッチモーター（どれか選択）

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (cm) ／重量
1	ギャッチモーター (2モータータイプ)	2MG-RJJ		1	130×60×165 ／17 (kg)
1	ギャッチモーター (3モータータイプ)	3MG-RJJ		1	130×60×165 ／17 (kg)

ヘッドボード、フットボード

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (cm) ／重量
1	ヘッドボード フットボード ※AN-Bタイプ	AN-B NJJ (ナチュラル色) AN-B DBJJ (ダークブラン色)		1	965×60×115 ／9 (kg)

脚部（どれか選択）

梱包数	部品名称	商品ラベル名称	図	数量	梱包サイズ (cm) ／重量
1	29 コティアシ JJ	29 コティアシ JJ	商品ラベル (1 個のみ) 	4	30×17×11 ／1 (kg)
	コティアシ用ネジ	なし		4	
1	24 コティアシ JJ	24 コティアシ JJ	商品ラベル (1 個のみ) 	4	26×15×11 ／1 (kg)
	コティアシ用ネジ	なし		4	

4. ベッドの設置

⚠ 注意

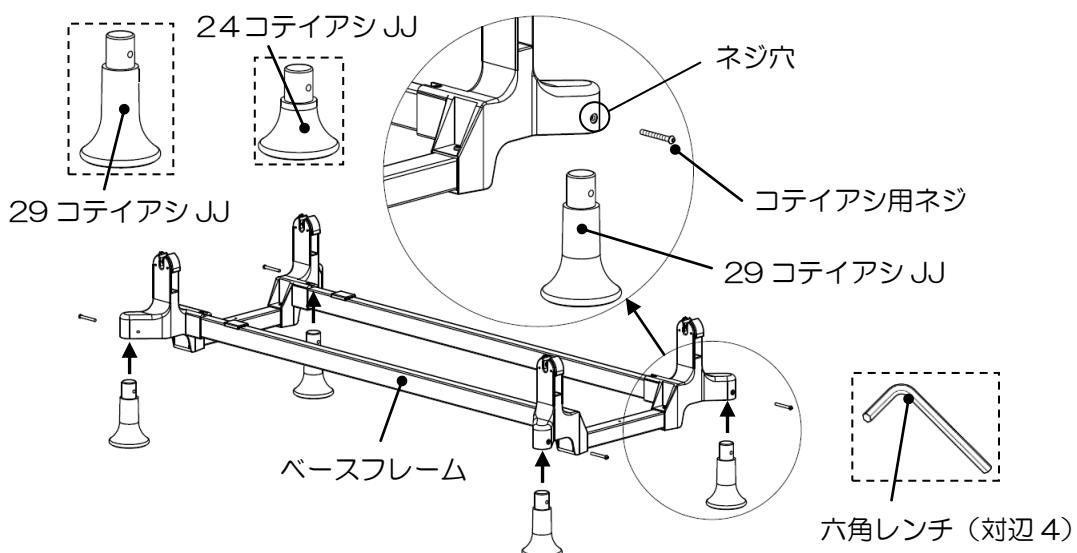
床の材質によっては、組み立て時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物等を敷いて床面の保護を行ってください。	!
組み立ての際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。	!
組み立ての際には、部品の上にのらないでください。 部品の変形や破損の原因となります。	🚫

- 組み立てを行う前に、「1. 安全のために必ずお守りください」、「2. 各部の名称」、「3. 部品の確認」をよく読んでおいてください。
- ベッドへの乗り降りやベッドからの移動、また壁やコンセントの位置、緊急時の解除レバーの位置を考え、あらかじめベッドの頭側、脚側の方向及び配置を決めておきます。
※ 緊急時の解除レバーは、仰向けに寝て右手側にあります。
- フレームをとめているバンドは組み立てや分解に使用します。

5. ベッドの組立手順

1. 脚部の取り付け

- ① ベースフレームのネジ穴に 29 コティアシ JJ のネジ穴を合わせて差し込み、コティアシ用ネジを六角レンチ（対辺 4）で締め付けます（4箇所）。24 コティアシ JJ の場合も、同様の手順で取り付けます。



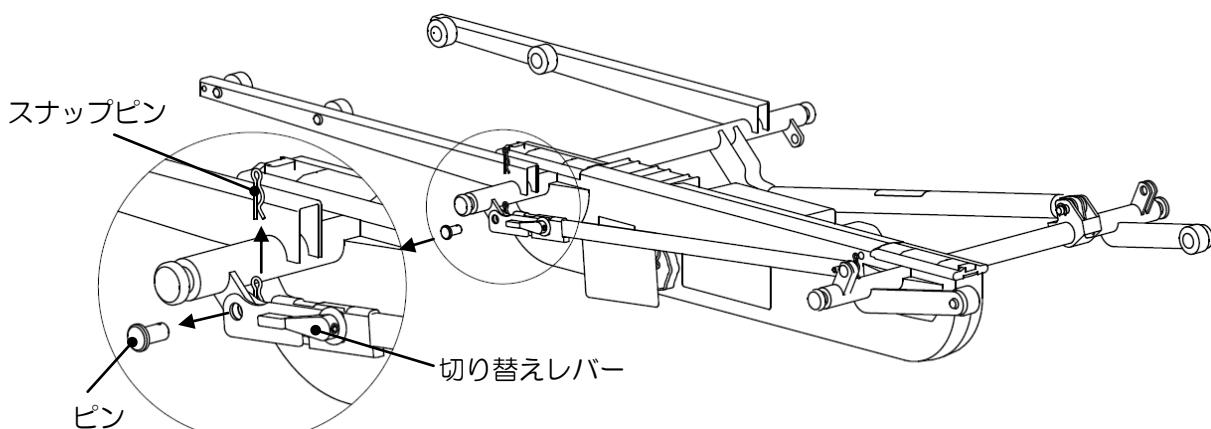
2. ギャッチモーターの切り替えレバーの付け替え

※ この作業は、2モータータイプのみ行います。

- 2モータータイプのギャッチモーターは、背上げ動作のみか、背上げと脚上げ動作の連動かを切り替えレバーによって選択することができます。
- 切り替えレバーは、右側、左側のどちらでも取り付け可能です。
- 切り替えレバーは、ベッドを乗り降りする側に取り付けておくと便利です。
- 切り替えレバーを右側から左側に付け替える場合は、下記の手順で行います。

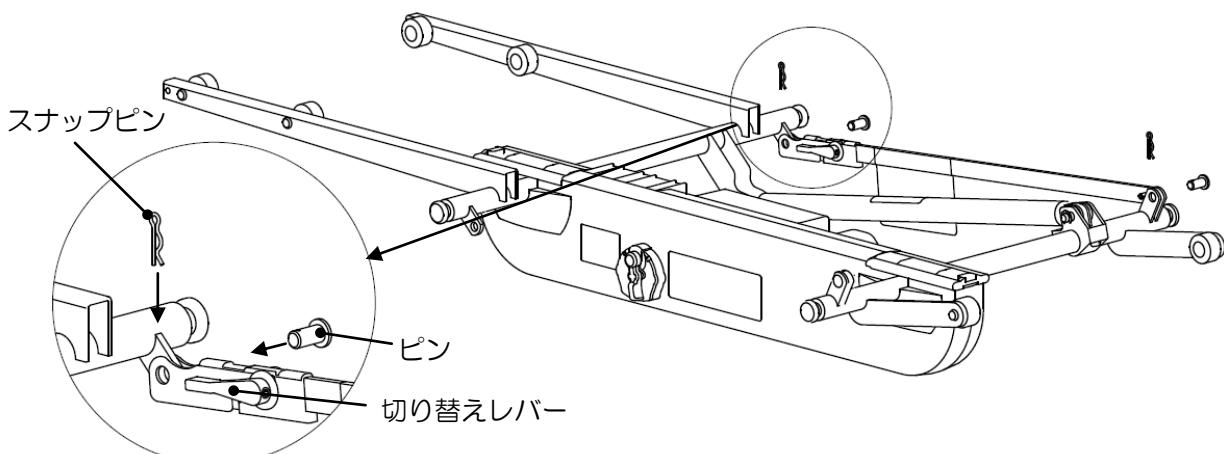
※ 出荷時の切り替えレバーの位置は右側です。

- ① スナップピンをピンの穴から抜いて、ピンを外します。ピンは2箇所あります。その後、切り替えレバーを外します。



切り替えレバーの位置（右側）

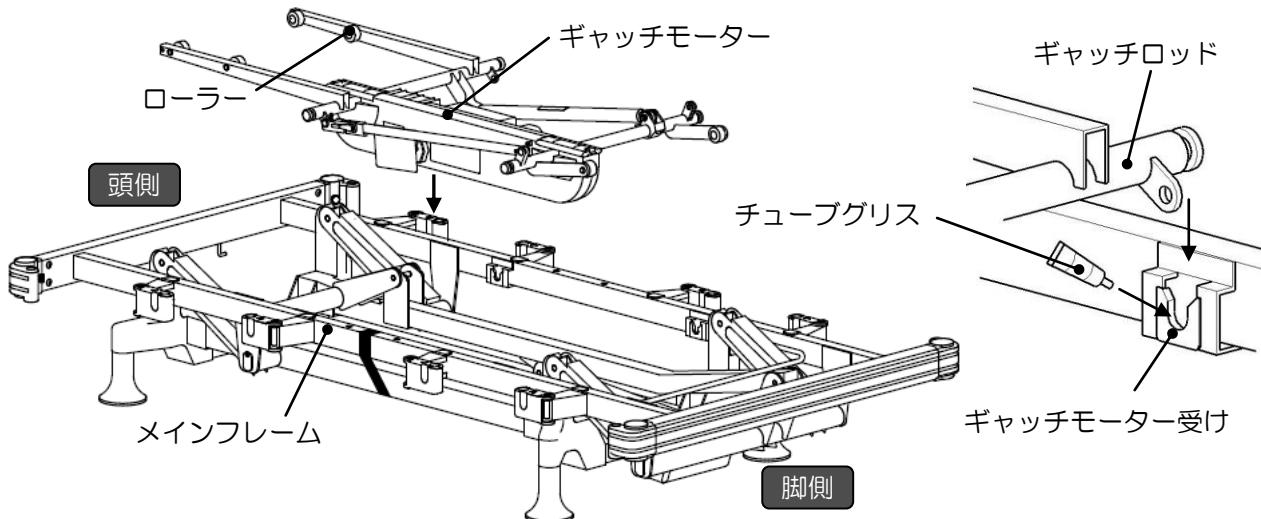
- ② 切り替えレバーを左側に取り付けます。その後、ピンを入れてからスナップピンをピンの穴に入れます。ピンは2箇所あります。



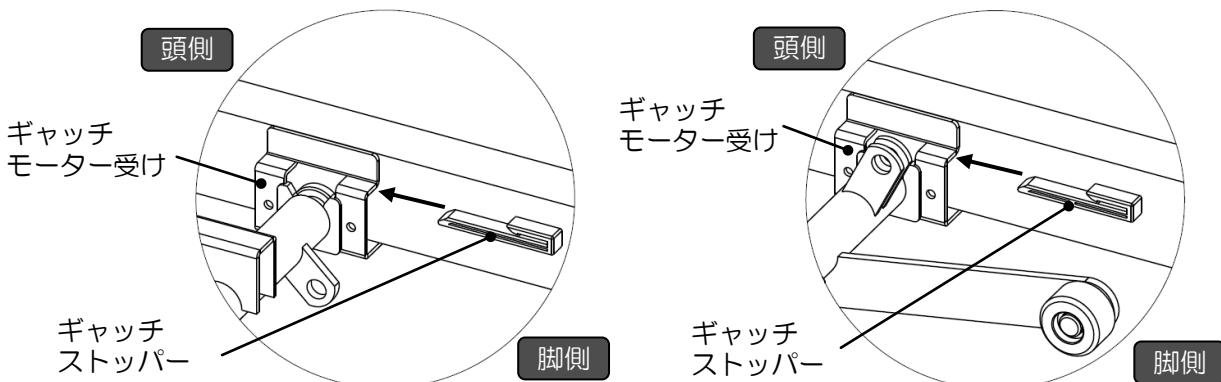
切り替えレバーの位置（左側）

3. ギャッチモーターの取り付け

- ① メインフレームの4箇所のギャッチモーター受けにチューブグリスを塗ります。ギャッチモーターのローラーが4個付いている方が頭側にくるようにして、ギャッチモーターのギャッチロッドをギャッチモーター受けにのせます。

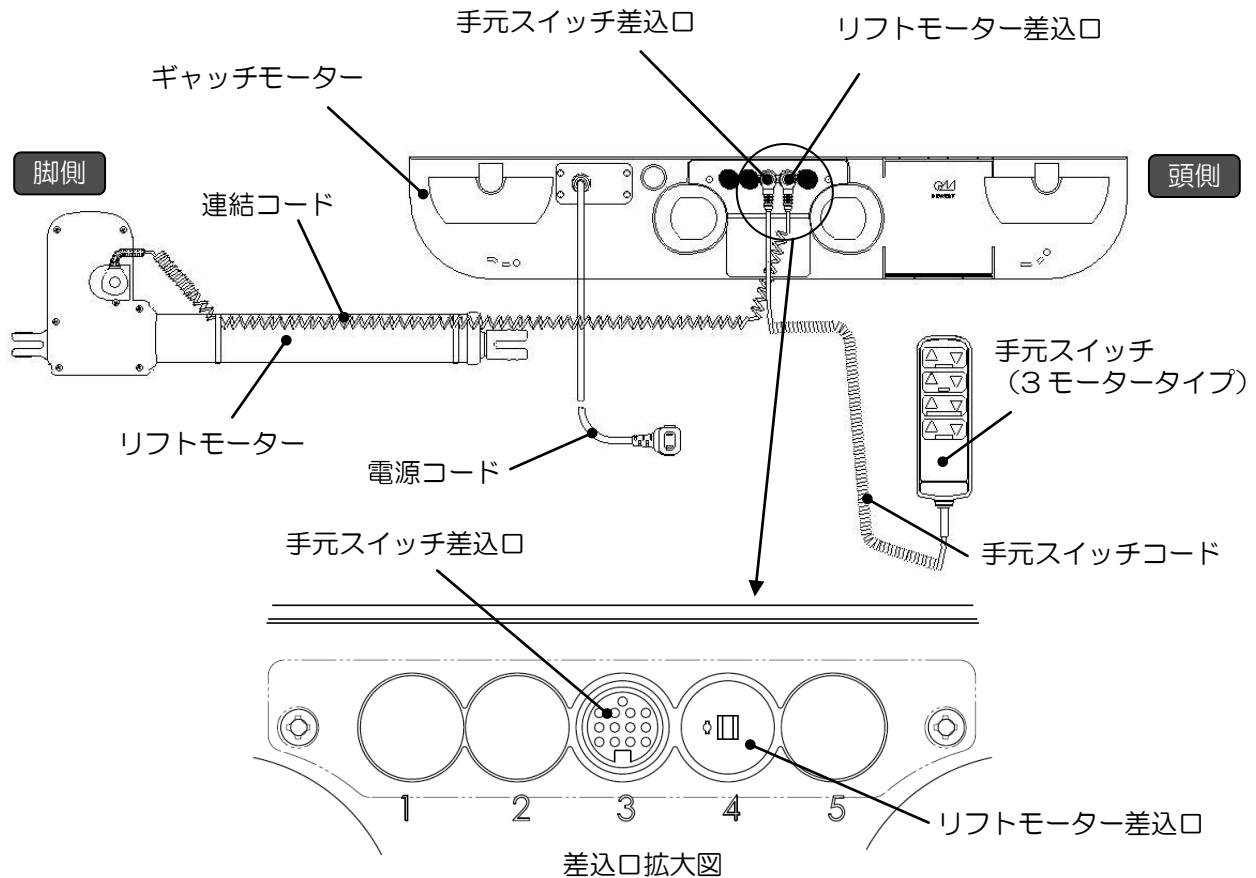


- ② ギャッチストッパーをギャッチモーター受け（4箇所）に差し込み固定します（ギャッチストッパーは、脚側から頭側に向けて差し込みます）。



4. リフトモーターの接続

- ① メインフレームに付属しているリフトモーターとギャッチモーターを接続します。リフトモーターに付いている連結コードの先端の形状を合わせて、ギャッチモーターのギャッチロッドの下からリフトモーター差込口に確実に差し込みます。



⚠ 注意

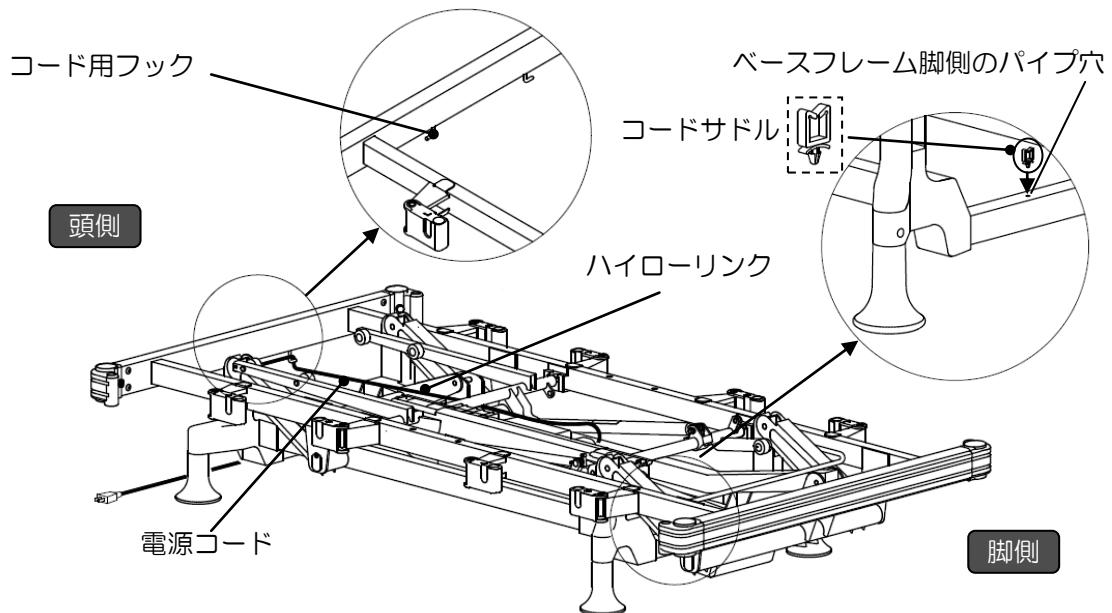
リフトモーターとギャッチモーターの接続は確実に行ってください。

誤った場所や方向に差し込むと、リフトモーター やギャッチモーターが破損する恐れがあります。



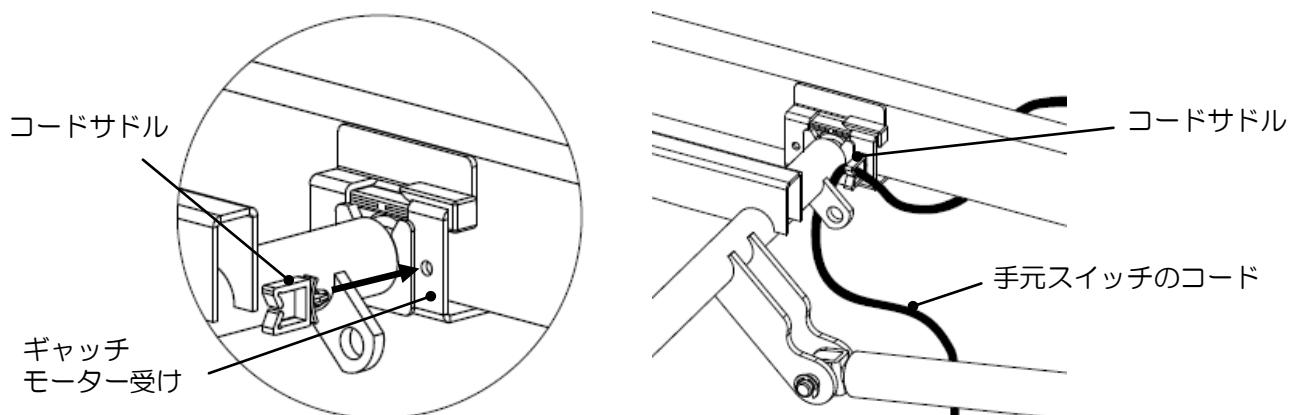
5. 電源コードの処理

- ① 電源コードを頭側に出す場合は、電源コードをハイローリンクとベースフレームの上を通してから、コード用フックに巻き付けてください。電源コードを脚側に出す場合は、ベースフレーム脚側のパイプ穴にコードサドルを差し込み、そこにコードを通してください。それぞれ、ベッドを一番高くしたときに、電源コードがつっぱらないように余裕を持たせてください。



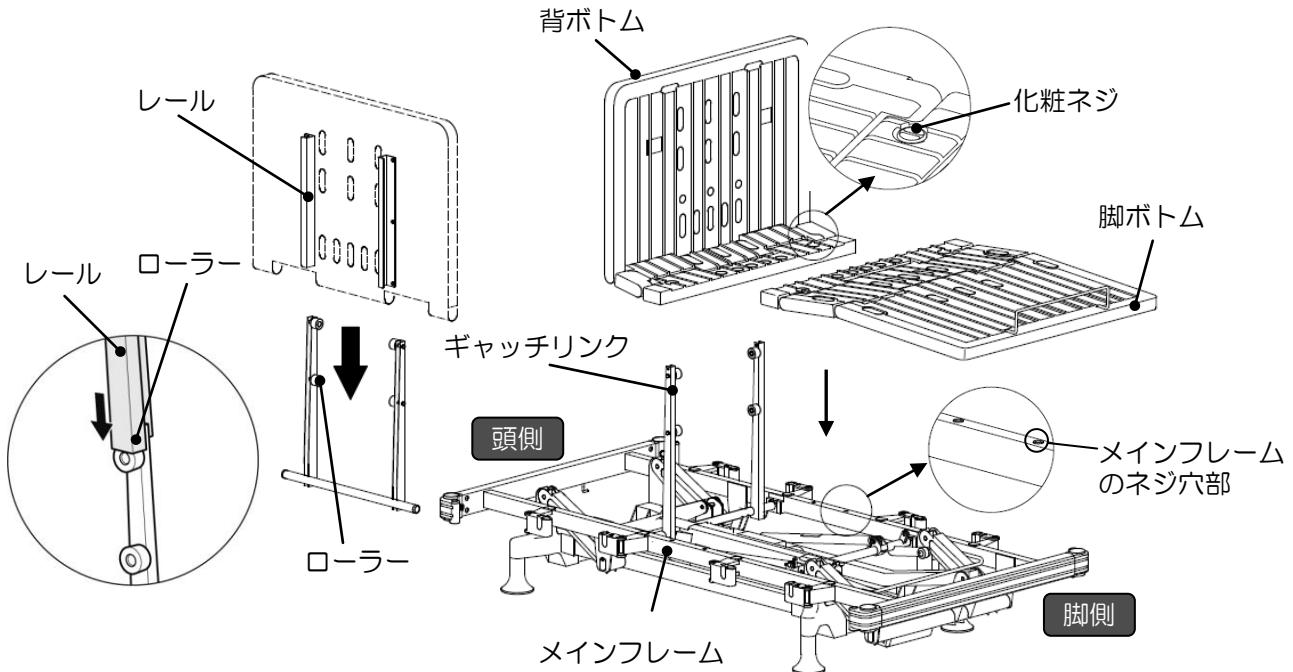
6. 手元スイッチのコードの処理

- ① 手元スイッチを出す位置を決めます。出す位置を決めた後、手元スイッチのコードをベースフレームの上を通してから、ギャッチャモーター受けの穴に差し込んだコードサドルに通します。なお、ギャッチャモーター受けは、左右2箇所ありますので、使用に差し支えのない場所を選んでください。

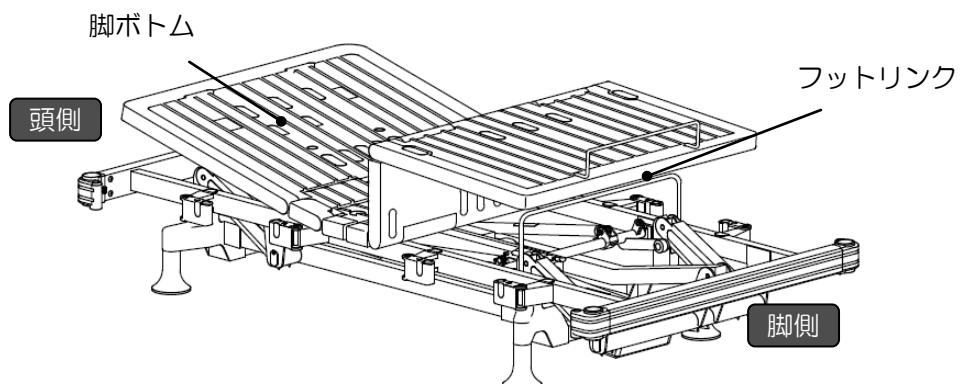


7. 背ボトムと脚ボトムの取り付け

- ① ギャッチリンクを手で立て、背ボトムを持ち上げながら、4 個のローラーに背ボトム裏側のレールをすべり込みます。
- ② 脚ボトムをメインフレームの上に乗せます。

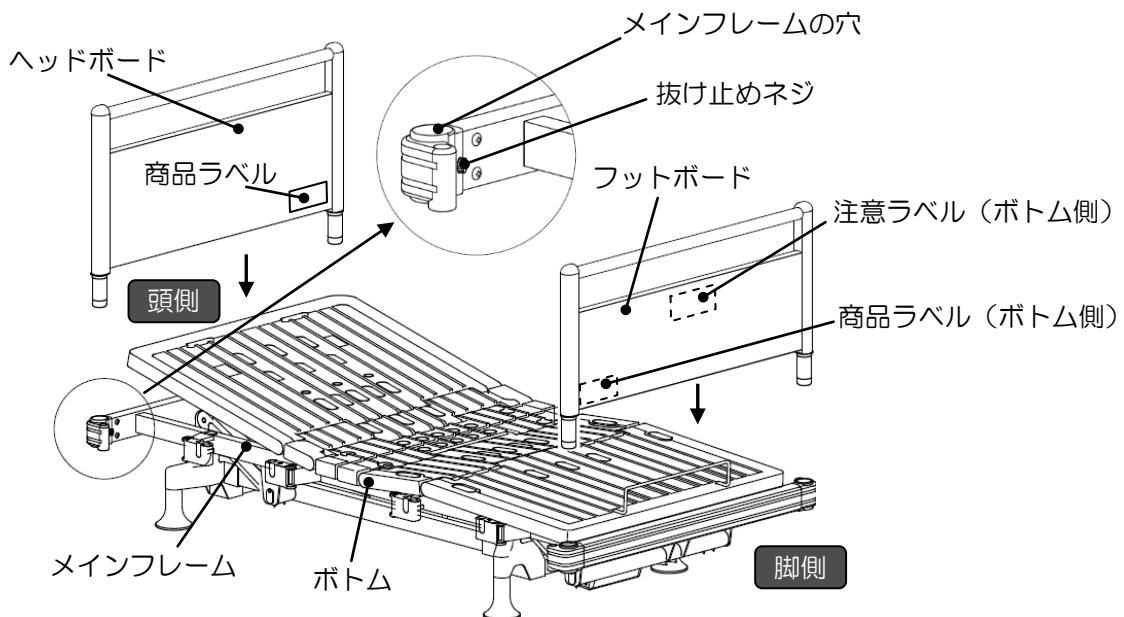


- ③ メインフレームのネジ穴部（左右各 2 箇所）と背ボトム、脚ボトムの化粧ネジ（4 箇所）を合わせて、締め付けます。
- ④ 脚先を水平に上げる場合は、脚ボトムを上げ、フットリンクを直角に立て、脚ボトム裏側のミゾにフットリンクをしっかりとめ込みます。脚ボトムにフットリンクが確実に付いていることを確認してから、脚ボトムをゆっくりと降ろしてください。フットリンクを取り付けた後、脚ボトムに衝撃を加えるとフットリンクが外れることがあります。外れた場合は、同じ手順で取り付けてください。



8. ヘッドボードとフットボードの取り付け

- ① ヘッドボード（注意ラベルなし、サイズ大）をメインフレームの頭側の穴に差し込みます。フットボード（注意ラベルあり、サイズ小）をメインフレームの脚側の穴に差し込みます。それぞれ、商品ラベルがボトム側を向くようにします。
- ② 4箇所の抜け止めネジをまわして、ヘッドボードとフットボードを固定します。



6. 使用方法

1. ベッド使用前の準備

初めてベッドを使用する時は、以下の準備を行ってください。

- 周囲に障害物のない場所にベッドを設置します。電源コードに十分余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
- 手元スイッチを押し正常に動作することを確認してください。
- ベッドを一番高くしたときに、コード類がひっかかっていないか、十分余裕があるか確認してください。

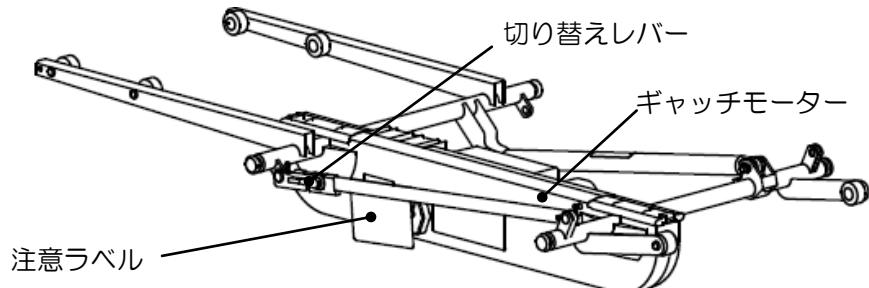
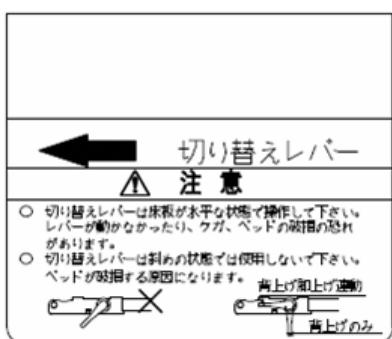
⚠ 注意

操作をする前にベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人や物がないことを確認してください。特にサイドレール、ベッド用グリップには十分注意してください。	!
複数のボタンを同時に押した場合、ベッドは動きません。手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて1つずつ押してください。	!
モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。安全装置が働き動作しなくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。	!

2. 切り替えレバーの操作方法

※ 2モータータイプのみの機能となります。

- 切り替えレバーを操作することによって、背上げのみと、背上げ脚上げ運動との動作の切り替えが出来ます。

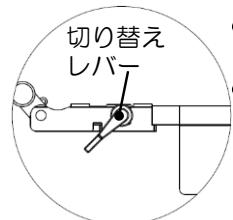


⚠ 注意

切り替えレバーはボトムが水平な状態で操作してください。
レバーが動かなかったり、ケガ、ベッドの破損の恐れがあります。

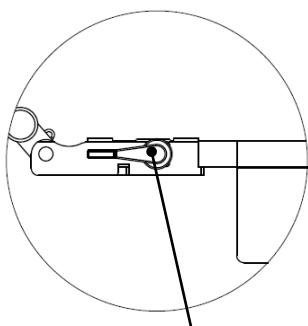


切り替えレバーは斜めの状態では使用しないでください。
ベッドが破損する原因になります。

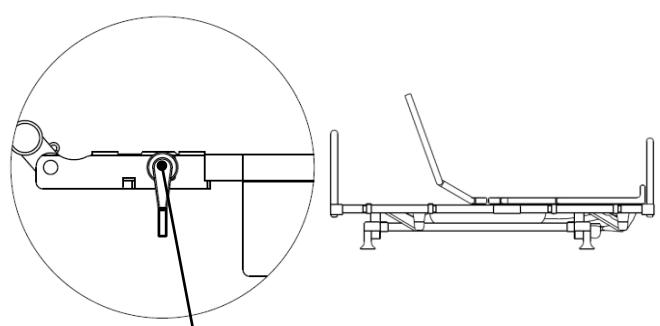


- 切り替えレバーを図の様に、水平にすると背上げと脚上げが運動して、同時に動きます。
また、切り替えレバーを垂直にすると背上げのみの動きになります。

背上げ脚上げ運動動作



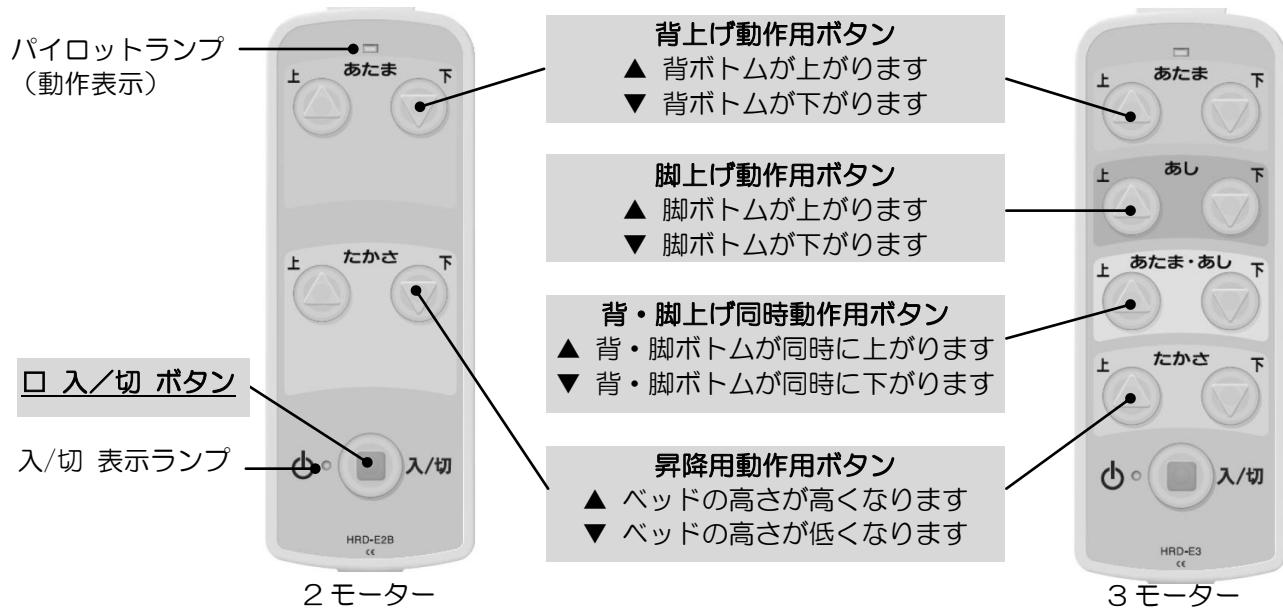
背上げのみ動作



3. 手元スイッチの操作方法

<ダブルアクションタイプ>

- 操作を始める前に「入/切ボタン(□)」を押しベッド操作ができるようにします。そのとき、入/切表示ランプが緑色に点灯します。「入/切ボタン(□)」を押さずに操作ボタンを押すと、入/切表示ランプは赤く点灯し、ベッドの操作は出来ません。
- ベッドを操作するときは、手元スイッチの各ボタンを1つ押してください。ボタンを押している間、パイロットランプが点灯し、ベッドが動きます。操作が終わったら「入/切ボタン(□)」を押し、安全のため、操作出来ないようにしてください。
- 2つのボタンを同時に押した場合、ベッドは動きません。
- 各ボタンは、部屋が暗くなってもしばらくのあいだ発光し、ボタンの位置を確認することができるようになっています。



● 入/切(□)ボタンについて

この手元スイッチには、より安全性をたかめるために「入/切ボタン」が搭載されています。このボタンを搭載することで、間違って操作ボタンを押してしまったときに、ベッドが動き出すリスクを軽減することができます。タイマーが内蔵されていますので、ベッド操作後、自然に「切」状態になります（最後のボタン操作から約38秒後）。より安全を高めるために操作が終わった時点で「入/切ボタン」を押し「切」状態にしてください。

万が一操作ボタンから手を離してもベッド動作が止まらない時などには、「入/切ボタン」を押すことで停止させることができます。

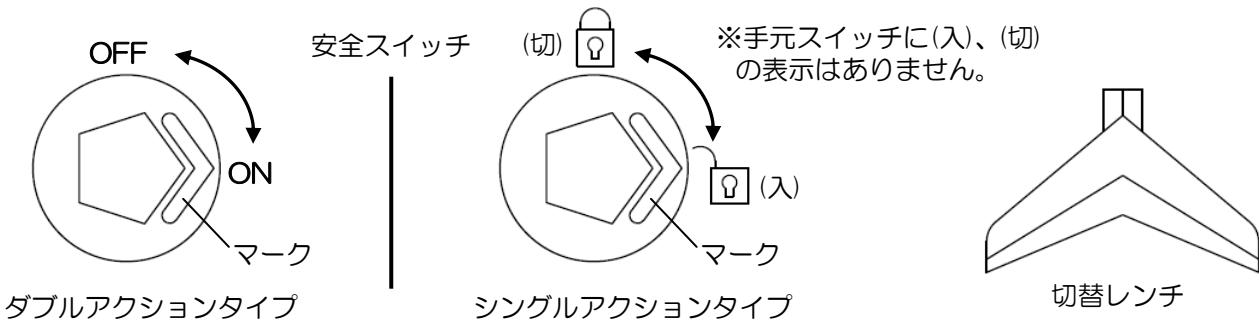
⚠ 注意

「入/切ボタン」を押さないと、ベッド操作はできません。操作の前に必ず「入/切ボタン」を押し、入/切表示ランプを緑色に点灯させてから操作してください。また、最後のボタン操作から約38秒後に入/切表示ランプが消灯し、「切」状態になります。



4. 安全スイッチの操作方法

- 裏側にある、安全スイッチの五角穴に付属の切替レンチを差し込み、「OFF」または「切」にマークを合わせると手元スイッチによる操作を禁止することができます。
- 「ON」または「入」にマークを合わせると手元スイッチによる操作が可能になります。
- 挟み込み予防や、使用者の症状や状態によって危険が想定される場合は手元スイッチでの操作を禁止してください。



⚠ 注意

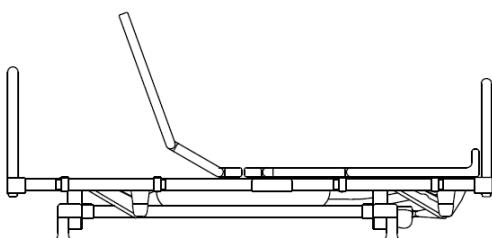
「OFF」または「切」の位置にマークがある場合は、ベッドは動きません。



5. 背上げ動作と脚上げ動作の使用方法

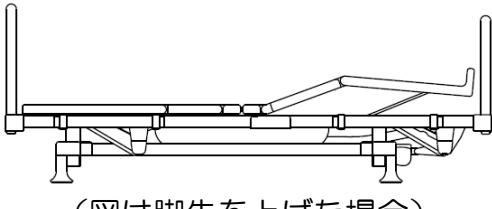
- 手元スイッチのボタンを押すことで、背上げ動作や脚上げ動作を行うことができます。

背上げ動作



- ベッドから起き上がりのときに便利です。
- ベッドでの食事、読書等で背もたれとして使用できます。
- 介護する方の負担を軽減します。

脚上げ動作

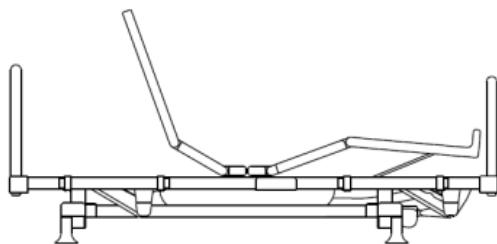


※ 3モータータイプのみの機構となります。

- 脚がむくんだときや、少し脚を上げたいときに使用します。
- 背上げをする時に先に上げておくと、体のずれを少なくできます。

背上げ + 脚上げ運動動作

※ 2 モータータイプの脚上げは背上げ運動です。
脚上げのみの操作はできません。

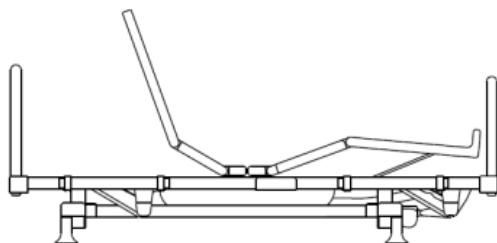


(図は脚先を上げた場合)

- 背と脚が運動して動きます。
- 背上げ動作による体のずれを防ぎます。

背上げ + 脚上げ同時動作

※ 3 モータータイプのみの機構となります。



(図は脚先を上げた場合)

- 背と脚が同時に動きます。
- 背上げ動作による体のずれを防ぎます。

6. 上下昇降動作（ハイロー機能）の使用方法

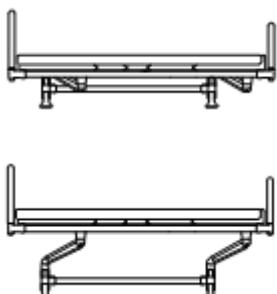
- 手元スイッチのボタンを押すことで、上下昇降動作を行うことができます。

上下昇降動作

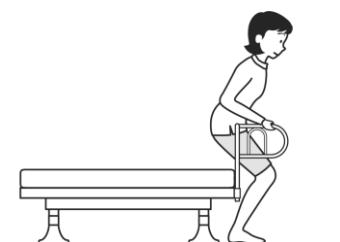
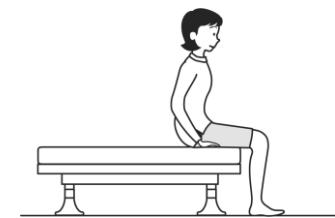
- ベッドから立ち上がる高さを調整することができます。
- ポータブルトイレや車いす等に移乗するときに高さを合わせられます。
- ベッドの高さを調節することによって楽な姿勢で介護出来ます。
- 上下昇降動作中は、若干ベッドが前後に移動するため、ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。

ベッドの頭側／脚側（長手方向）：10 cm 以上

ベッドの両側（サイド） : 5 cm 以上



上下昇降動作の活用方法

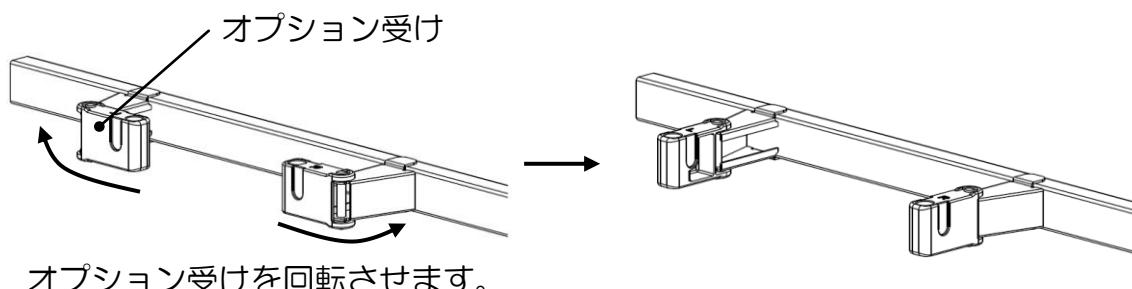


- 本製品は、高さを変えることで、立ち上がりや車いす、ポータブルトイレへの移乗が楽に行えます。
- マットレスの上に座り、かかとを床に着け、ひざが直角に曲がるくらいにすると座位が安定し、立ち上がりやすい姿勢です。ベッド用グリップをご使用になりますと、「立つ」、「座る」の動作負担を軽くすることができます。
- ベッドからの移乗は、マットレスの上面が車いすやポータブルトイレなどの座面よりも少し高めの方が移乗しやすくなります。
- ベッドへ戻る場合は、マットレスの上面が少し低めの方が移乗しやすくなります。いずれも個人差があります。使う方に合った高さに調整してください。

- 動作説明の内容を十分理解し、動作確認ができましたら、マットレスをボトムの上にのせて、使用してください。

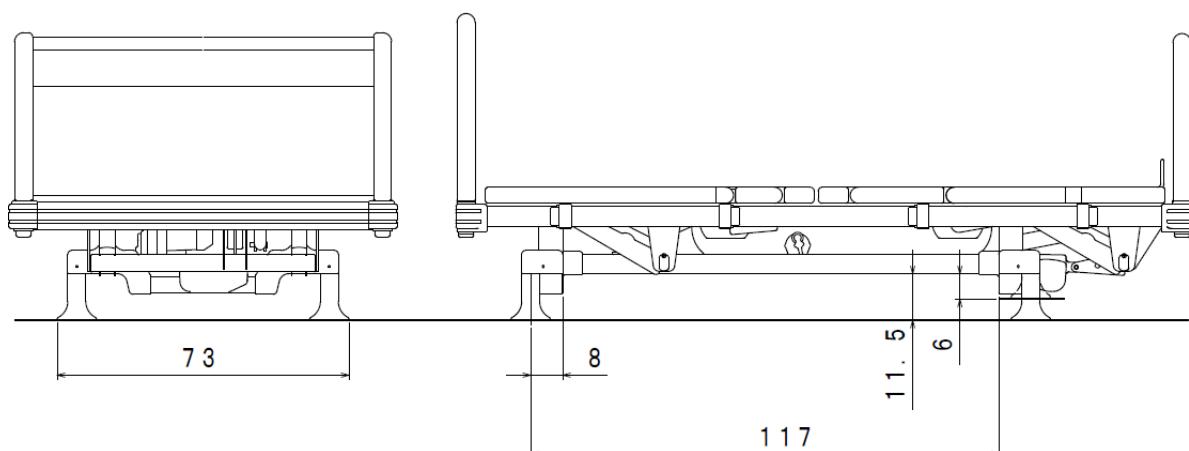
7. オプション受けの使用方法

- サイドレールやベッド用グリップを使用するときにはオプション受けを回転させて、セッテします。



7. リフトの利用について

- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合は、ベースフレームの脚部を逃げる幅は約73cmです。
- ベッド側面からご利用になる場合は、ベースフレーム頭側の脚部から8cm～117cmの範囲で、床面からの高さは、11.5cm(29コティアシJJ使用)／6cm(24コティアシJJ使用)となります。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店に相談してください。
- ご利用の際は、リフトに添付されており、リフトの取扱説明書に従ってください。



8. サイドレールとベッド用グリップについて

1. サイドレールの使用目的

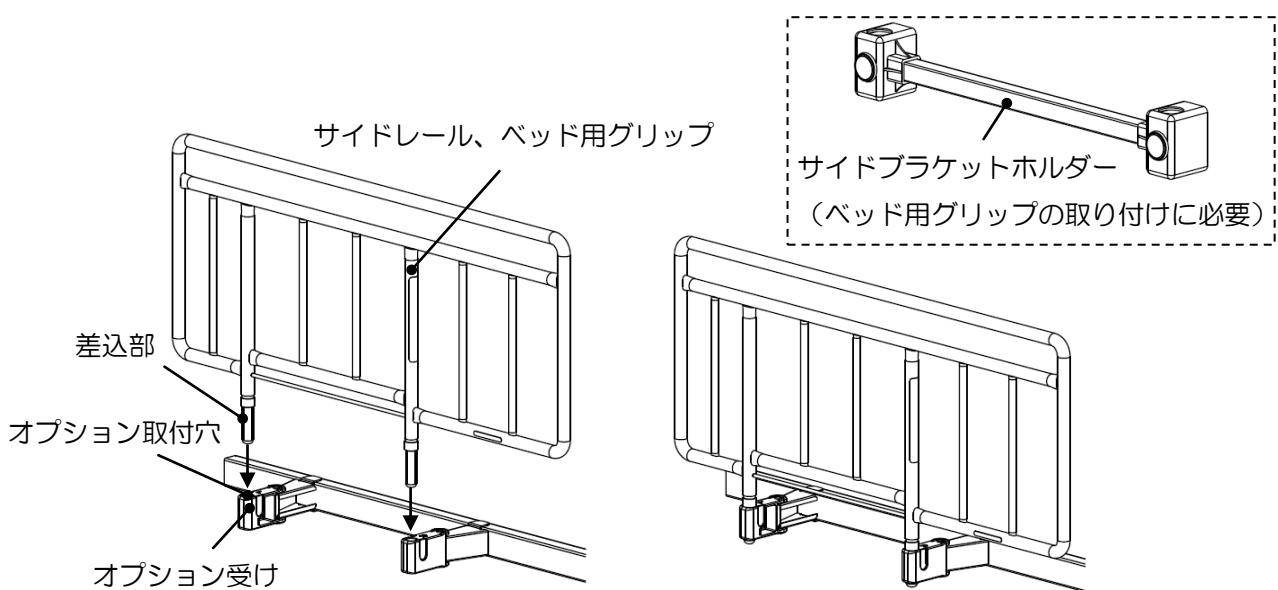
- サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして、使用します。

2. ベッド用グリップの使用目的

- ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するものです。ベッドから乗り降りする方向の頭側に取り付けます。

3. サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法

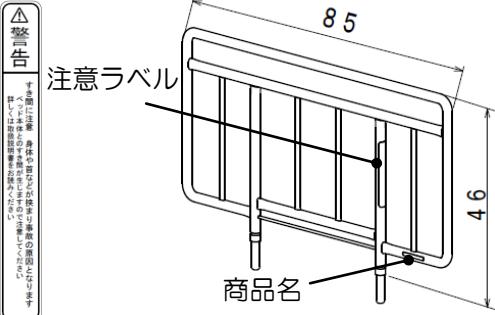
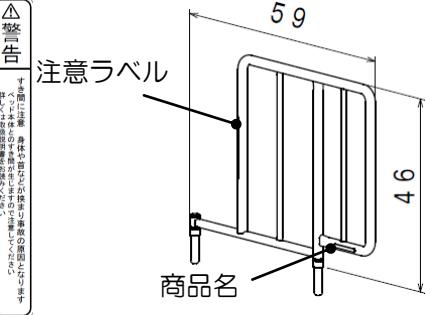
- サイドレール、ベッド用グリップはベッド左右にあるオプション受けのオプション取付穴に差し込みます。
- ベッド用グリップの取り付けにはサイドブラケットホルダーが必要になります。詳しくは、各ベッド用グリップの使用方法を確認してください。



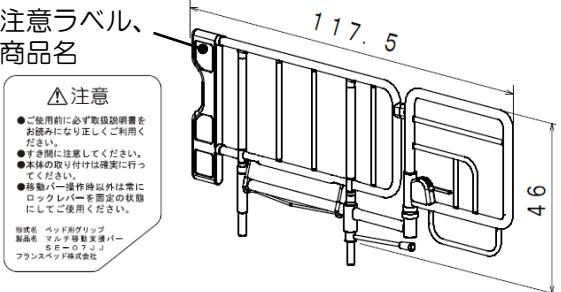
4. 適合するサイドレールとベッド用グリップ

- 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- 商品名をご確認ください。
- 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

適合するサイドレール

商品名	形状、寸法 (cm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJSS	 <p>△警告 注意ラベル 商品名</p>	スチール エポキシ樹脂粉体塗装 1.5 (kg)
サイドレール SR-351JJ	 <p>△警告 注意ラベル 商品名</p>	スチール エポキシ樹脂粉体塗装 2.5 (kg)

適合するベッド用グリップ

商品名	形状、寸法 (cm)	材質、塗装、重量
ベッド用 グリップ マルチ移動 支援バー SE-07JJ	 <p>△注意 ●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。 ●本体に付属のロッカーベルトを必ず締め付けてください。 ●本体の取り付けは確実に行なってください。 ●移動バー一連作時以外は常にロック位置を固定の状態にしてお使いください。 商品名 ベッド用グリップ 製品名 マルチ移動支援バー SE-07JJ フランスベッド株式会社</p> <p>△注意 ●本体に付属のロッカーベルトを必ず締め付けてください。 ●本体の取り付けは確実に行なってください。 ●移動バー一連作時以外は常にロック位置を固定の状態にしてお使いください。 商品名 ベッド用グリップ 製品名 マルチ移動支援バー SE-07JJ フランスベッド株式会社</p> <p>△注意 ●本体に付属のロッカーベルトを必ず締め付けてください。 ●本体の取り付けは確実に行なってください。 ●移動バー一連作時以外は常にロック位置を固定の状態にしてお使いください。 商品名 ベッド用グリップ 製品名 マルチ移動支援バー SE-07JJ フランスベッド株式会社</p>	スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)

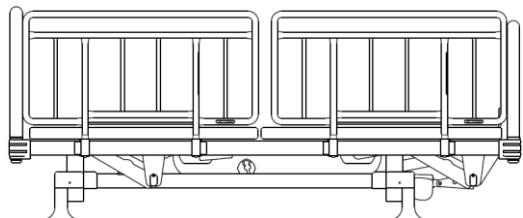
商品名	形状、寸法 (cm)	材質、塗装、重量
ベッド用 グリップ マルチ移動 支援バー SE-05JJ	<p>注意ラベル、商品名</p> <p>△注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくご利用ください。 ●すき間に注意してください。 ●本製品取り付けは微調整に行ってください。 ●移動バー操作時以外は常にロックレバーを固定の状態にしてご使用ください。 <p>注意ラベル</p> <p>△注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイドレールとベッド用グリップの組み合わせを取扱説明書で必ずご確認ください。 	スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)

商品名	形状、寸法 (cm)	材質、塗装、重量
ベッド用 グリップ GR-510	<p>注意・操作ラベル、商品名</p> <p>△注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイドレールとベッド用グリップの組み合わせを取扱説明書で必ずご確認ください。 ●操作時は必ず手を離さないでください。 ●操作時は必ず手を離さないでください。 ●操作時は必ず手を離さないでください。 	スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)

5. サイドレールとベッド用グリップの推奨取り付け位置

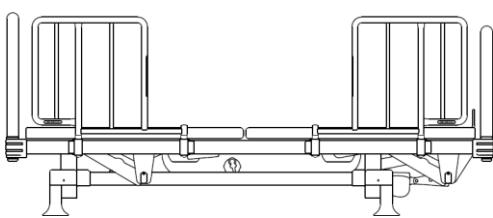
サイドレールの推奨取り付け位置

※ 図は2本差しの例です。片側に1本差しも可能です。



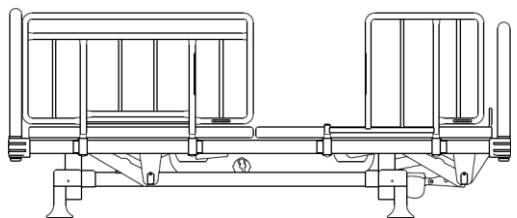
頭側：SR-100JJSS

脚側：SR-100JJSS



頭側：SR-351JJ

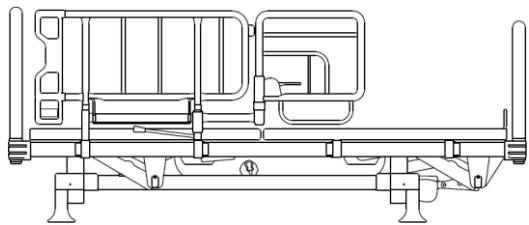
脚側：SR-351JJ



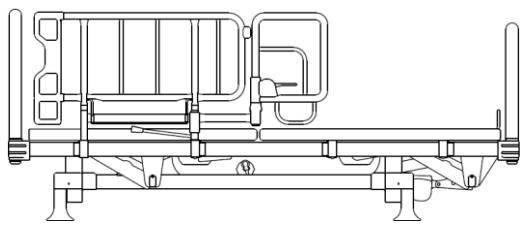
頭側：SR-100JJSS

脚側：SR-351JJ

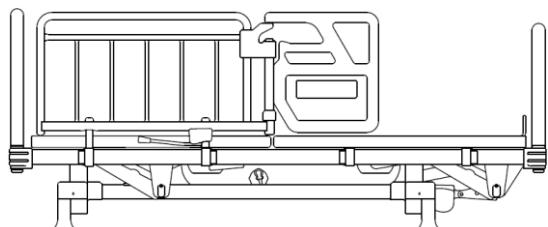
ベッド用グリップの推奨取り付け位置



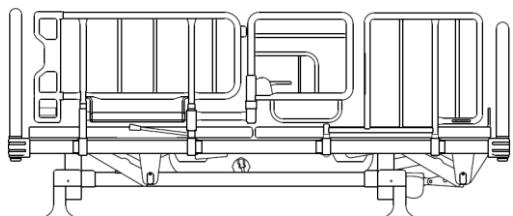
頭側 : SE-07JJ



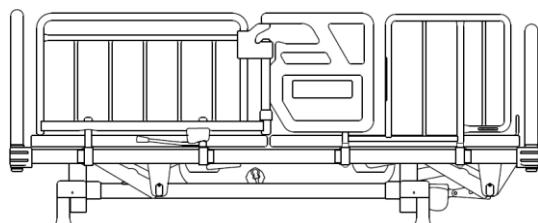
頭側 : SE-05JJ



頭側 : GR-510



頭側 : SE-07JJ



頭側 : GR-510

脚側 : SR-351JJ

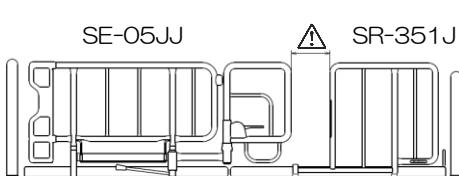
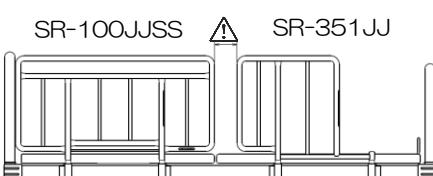
脚側 : SR-351JJ

⚠ 警告

●身体を挟み込む危険性があるすき間が発生するため、使用禁止の組み合わせ。

以下のサイドレールとサイドレール、及びグリップとサイドレールの組み合わせは、並べて使用した時に、身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間が発生します。以下の組み合わせでは使用しないでください。

また、SR-100JJ、SR-106JJ、SR-W1JJ、SR-800JJ、ショートサイズ(FBN-PJJS SU)専用オプションのSR-100JJS及びSR-W1JJSは使用しないでください。

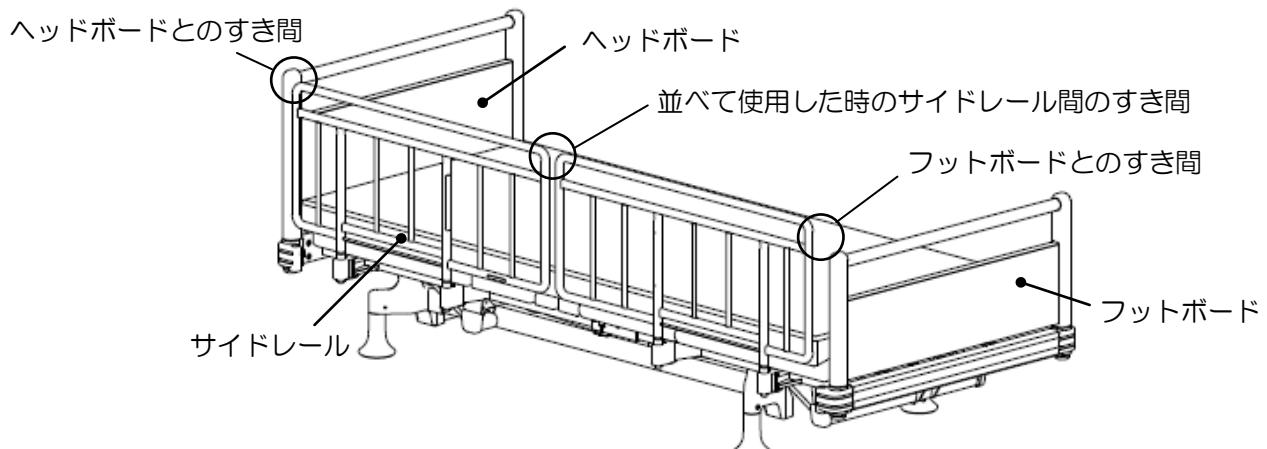


※ ⚠は身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間です。

※ 図示と頭側、脚側を入れ替えても同じようにすき間が発生します。

6. サイドレールとベッド用グリップの注意事項

- サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。



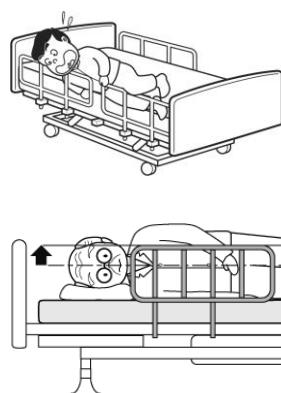
ベッドに設置した場合のすき間にに関する注意

⚠ 警告

使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。

特に厚いマットレス（エアマットレスなど）との組み合わせによっては相対的にサイドレール、ベッド用グリップ高さが低くなります。乗り越えないよう注意してください。マットレスは指定の厚さのものをご使用ください。使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。

ベッドから転落してケガをする恐れがあります。



ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。

また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。



サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。

サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかったりすると身体が圧迫されて、傷害や生命の危険にかかわるケガをする恐れがあります。



サイドレールやベッド用グリップを1本で使用（ベッドの片側での使用）する際はベッドとのすき間が大きくなることがありますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。サイドレール、ベッド用グリップをベッドの片側にのみ差した場合、背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体がはさまれる可能性がありますので注意してください。



落下防止のため、専用のサイドレールの使用をお勧めいたします。また、落下する可能性の大きい使用者には、側面全体をサイドレールでおおうなどの方法が有効です。



使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。

使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがある事を認識させてください。

ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。
ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。
衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかったり重大事故となる恐れがあります。

サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。



サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。

特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。



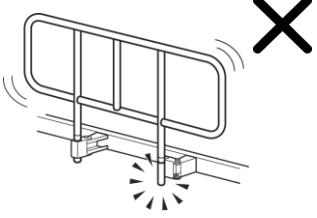
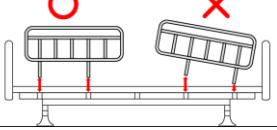
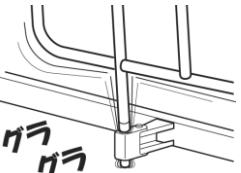
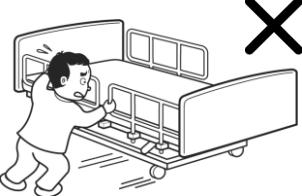
挟まれてケガをする恐れがあります。

乳幼児には使用しないでください。乳幼児には必ず乳幼児専用のベッドを使用してください。

サイドレール、ベッド用グリップの格子のすき間から転落する恐れがあります。



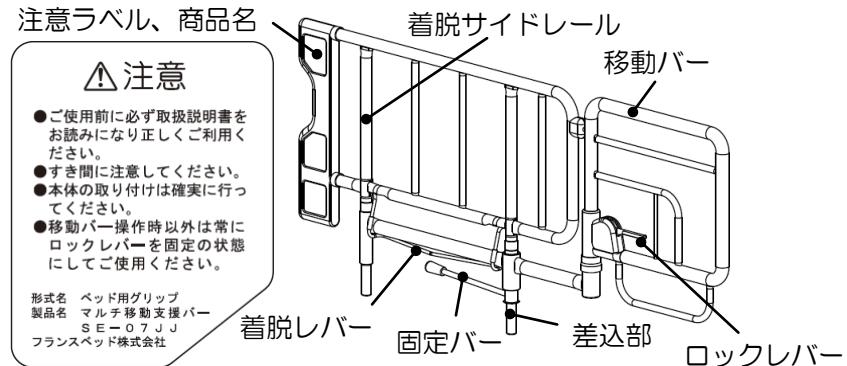
⚠ 注意

<p>サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず2箇所差し込んでください。 固定が不十分だと、グラツキが発生し事故の原因となります。</p> 	
<p>サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。 無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。</p> 	
<p>長期間の使用等により差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。 ぐらついたまま使用していると思わぬ事故の原因となります。</p> 	
<p>座位が保てない方の使用は注意してください。 背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。</p>	
<p>サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。 過大な力が掛けられ変形、破損の原因となります。</p> 	
<p>本取扱説明書で指定された以外の組み合わせで使用しないでください。</p>	
<p>お客様による修理、改造は絶対にしないでください。修理は、販売店または弊社お客様相談室に依頼してください。 思わぬ事故の原因となります。</p>	
<p>思わぬケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください。</p>	

7. ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の使用方法

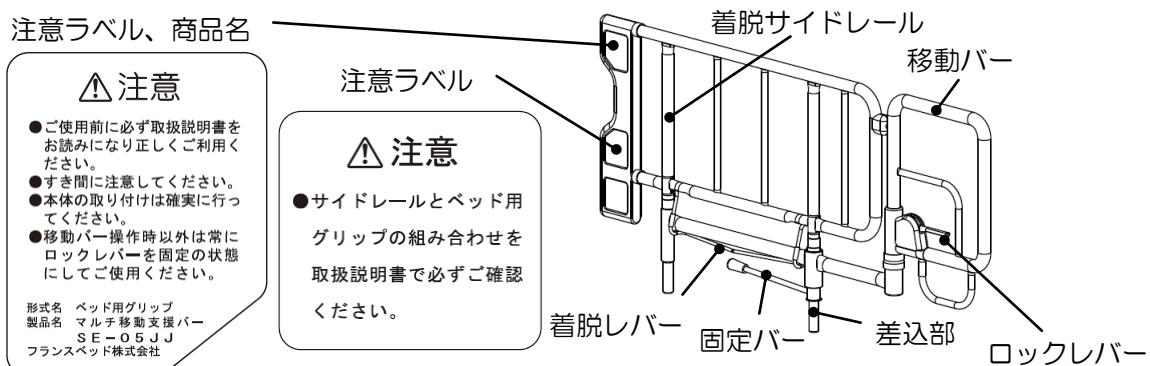
● ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の各部の名称

SE-07JJ の各部の名称を下記に示します。



SE-07JJ の各部の名称

SE-05JJ の各部の名称を下記に示します。



SE-05JJ の各部の名称

⚠ 警告

ベッドに確実に固定されていることを確認してから使用してください。SE-05JJ は全面柵としてのご使用はできません。

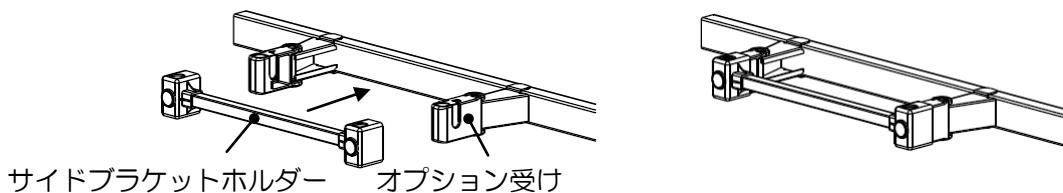
足側に対応するサイドレールはないため、差さないでください。

事故の原因となります。

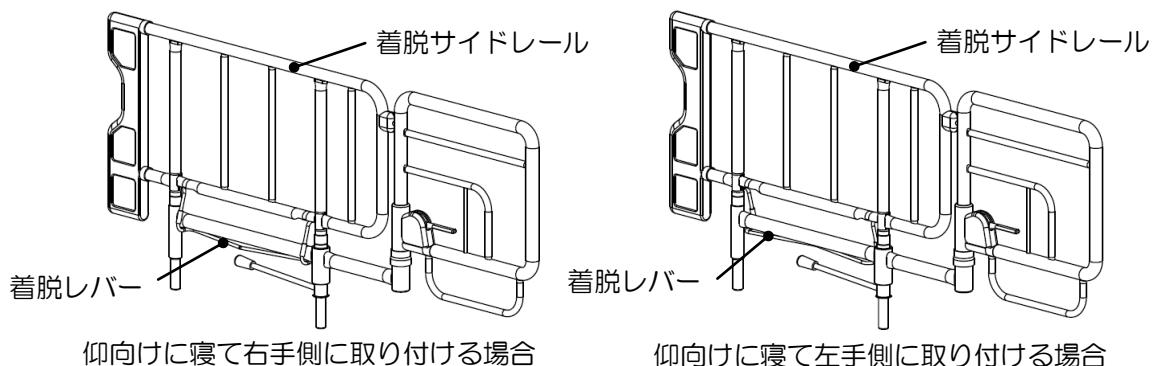


● ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の設置方法

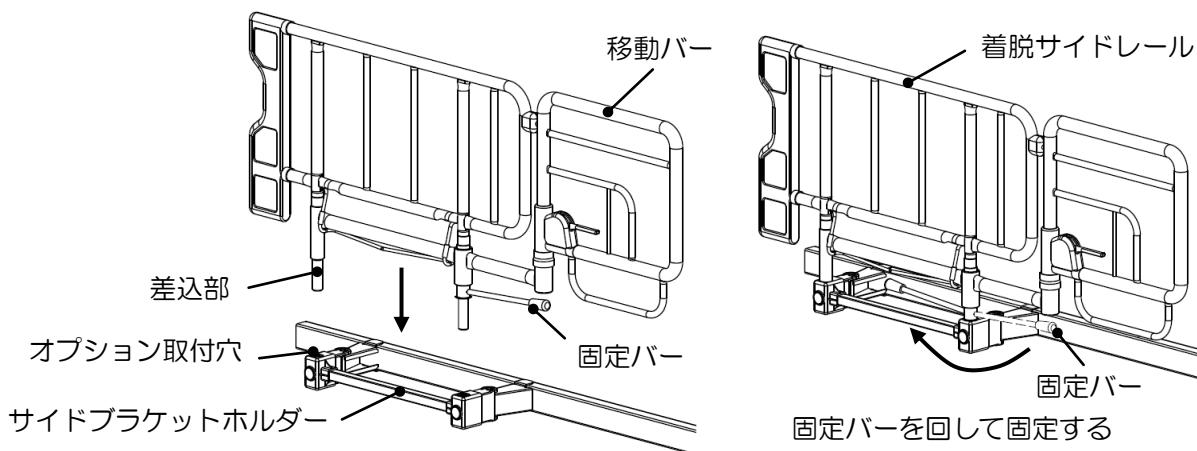
- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めた後、同梱されているサイドブラケットホルダーをベッドのオプション受けに取り付けます。



- ② 着脱レバーがベッドの外側に向くように、付け替えます（着脱サイドレールの取り外し時に、ベッドの外側から操作するため）。着脱レバーを付け替えるには、まず着脱レバーを内側にしならせて抜き取ります。そして着脱サイドレールの反対側に、着脱レバーを内側にしならせて、入れ込みます。

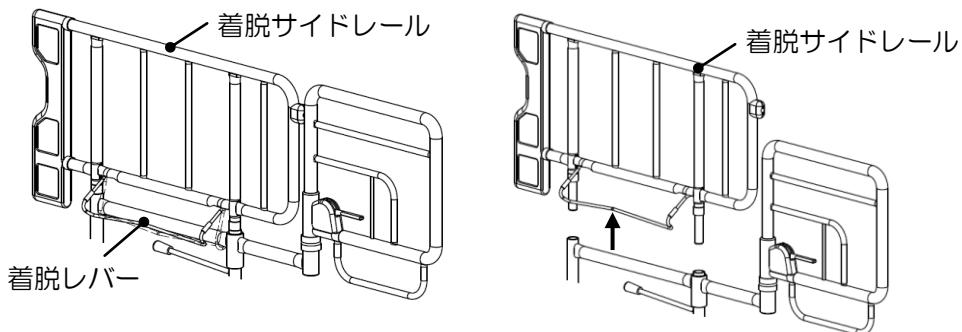


- ③ 固定バーを移動バー側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。その後、固定バーを着脱サイドレール側に回して固定します。



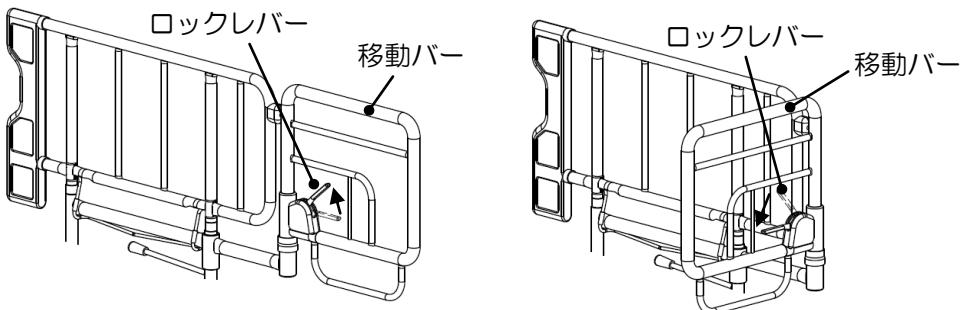
● 着脱サイドレールの取り外し方法

- ① 図のように着脱レバーを上げると、着脱サイドレールを取り外すことができます。



● 移動バーの操作方法

- ① ロックレバーを上に持ち上げると固定が解除され、移動バーを回転させる事ができます。位置が決まったら、ロックレバーを下げるで固定してください。移動バーは 150° の範囲で 30° ごとに固定できます。最後に、きちんとロックがかかっているか確認してください。



● ベッド用グリップ マルチ移動支援バー SE-07JJ/SE-05JJ の注意事項

SE-07JJ/SE-05JJ の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告

固定バーによりベッドに固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があり事故の原因となります。	!
移動バーがロックレバーにより、固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、移動バーが不意に回転し、転倒、ケガをする恐れがあります。	!
着脱サイドレールの着脱レバーは固定の位置になっている事を確認してから使用してください。 本品がベッドフレームから外れる可能性があり事故の原因となります。	!

ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒等の事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。

操作時に誤って転落し、ケガをする恐れがあります。



着脱サイドレールは単独でサイドレールとして使わないでください。

事故や破損の原因となります。



⚠ 注意

操作のときに、手指を挟まないように注意してください。

ケガや事故の原因となります。



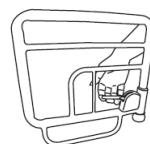
移動バーを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。

すき間により、手指が挟まれる恐れがあります。



移動バーを固定する角度（0°、90° 以外の場合）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。

事故や破損の原因となります。

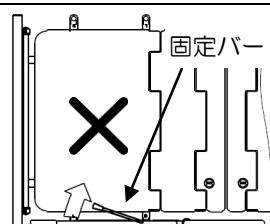


ロックレバーの解除操作をする際はレバーを握らず、下から引き上げるように解除してください。

勢いよく解除された場合、手の甲が挟まれる恐れがあります。

固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。

固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。



移動バーは、マットレス側には回転させないでください。

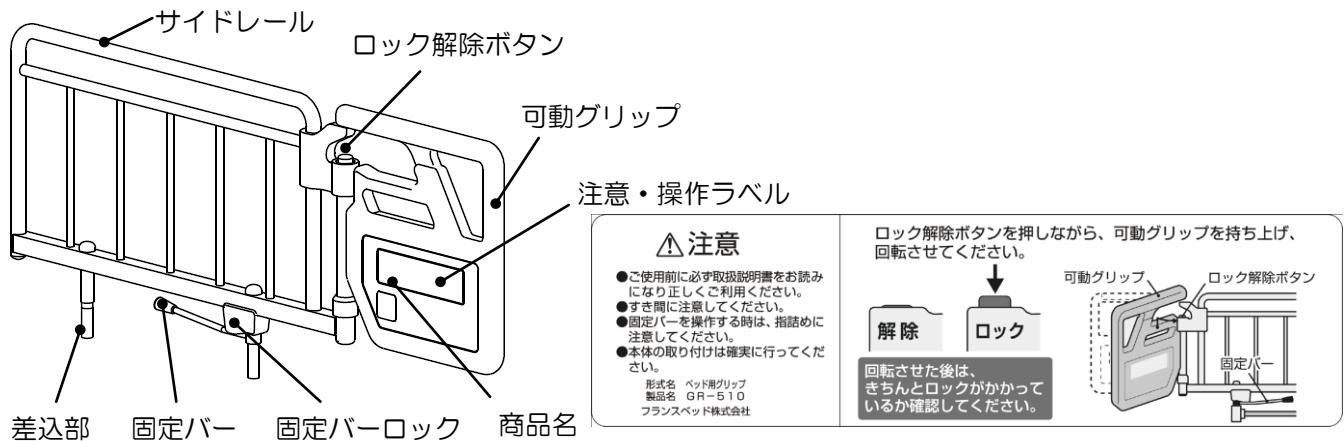
事故や破損の原因となります。



8. ベッド用グリップ GR-510 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-510 の各部の名称

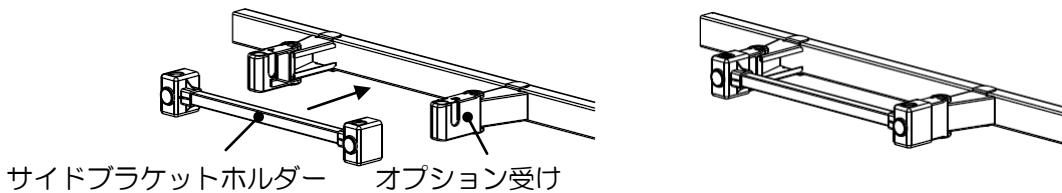
GR-510 の各部の名称を下記に示します。



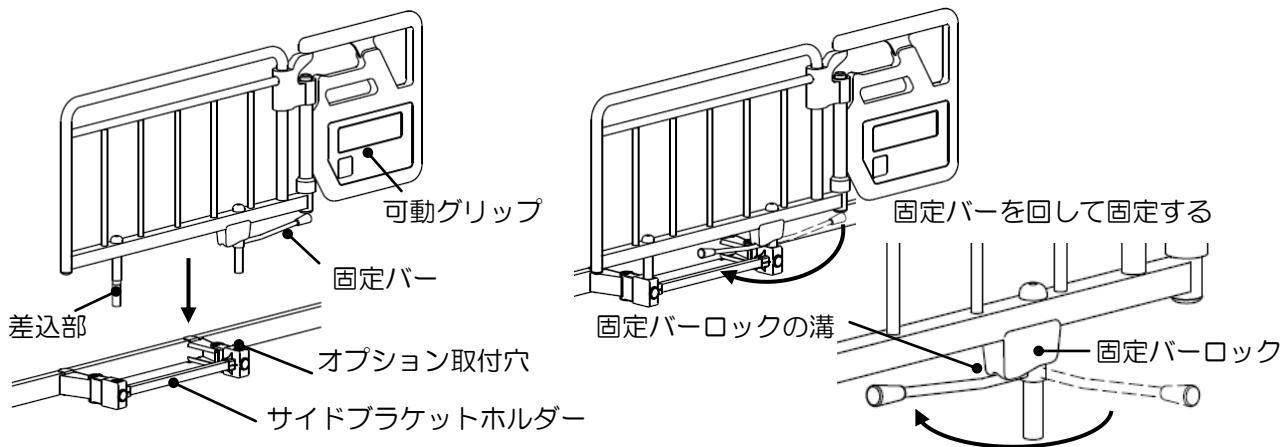
GR-510 の各部の名称

● ベッド用グリップ GR-510 の設置方法

- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めた後、同梱されているサイドブラケットホルダーをベッドのオプション受けに取り付けます。

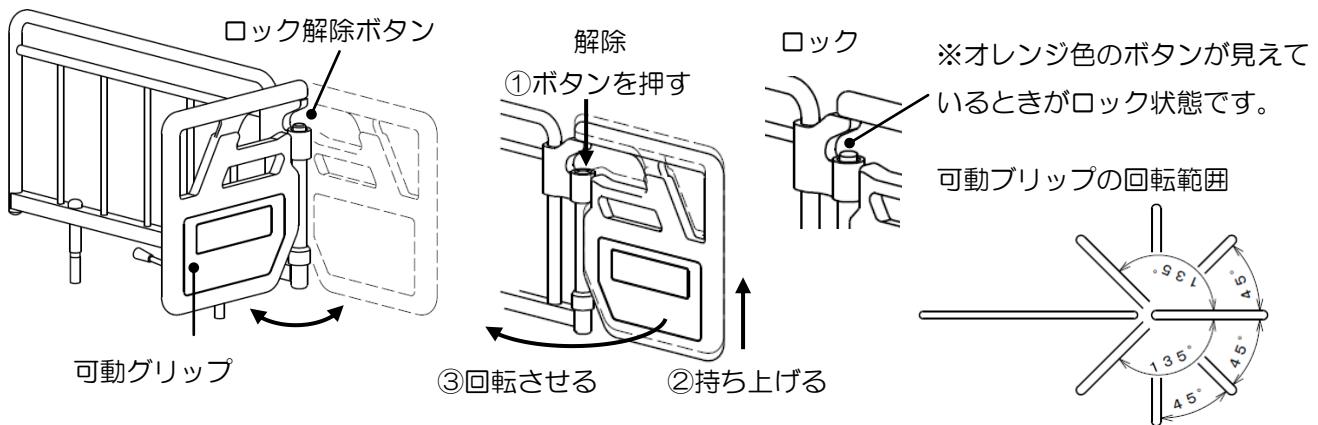


- ② 固定バーを可動グリップ側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。
- ③ 固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。



● 可動グリップの操作方法

- ① ロック解除ボタンを押すと、可動グリップのロックが解除されますので、押しながら可動グリップを持ち上げ、回転させてください。可動グリップは真っ直ぐと 45°、90°、135° と回転させた位置で固定することができます。回転させた後は、確実に固定されているか確認してください。



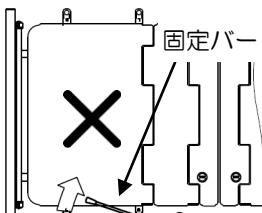
● ベッド用グリップ GR-510 の注意事項

ベッド用グリップ GR-510 の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告

ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒等の事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。 操作時に誤って転落し、ケガをする恐れがあります。	!
固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があり事故の原因となります。	!
可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、可動グリップが不意に回転し、転倒、ケガをする恐れがあります。	!
45°で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。	!

⚠ 注意

操作のときに、手指を挟まないように注意してください。 ケガや事故の原因となります。	!
可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。 すき間ににより、手指が挟まれる恐れがあります。	!
可動グリップを固定する角度(0°、90°以外の場合)によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。 事故や破損の原因となります。	!
固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。 固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。	
可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。 事故や破損の原因となります。	🚫

9. サイドレールとベッド用グリップのメンテナンス情報

サイドレール及びベッド用グリップに下記の異常が見られた場合、ただちに使用を中止し、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

- 差込部分が異常にぐらぐらする。
- ベッドから容易に外れる。
- 移動バーが正しく固定できない。
- 固定を解除できない。
- そのほか異常と思われる場合。

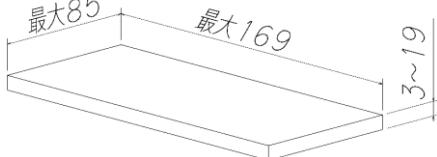
9. マットレスについて

1. 適合するマットレス

- 本製品に推奨するマットレスは以下の型式となります。商品名をご確認ください。

推奨マットレス	・リバーシブルマットレス IS-80SS
---------	----------------------

- 上の推奨マットレスに記載の無い弊社製マットレス、及び 床ずれ防止用具としてのエアマットレス、静止型マットレスについては、下図の寸法を満たしている場合、適合します。

適合 マットレス 寸法		最大幅：85cm 最大長さ：169cm 最低厚さ：3cm 最大厚さ：19cm
-------------------	---	---

10. ベッドフレームの分解方法

⚠ 注意

床の材質によっては、組み立て時に床面が傷つくことがありますので、ダンボール材や敷物等を敷いて床面の保護を行ってください。	
組み立ての際には、ケガなどに十分注意して作業を行ってください。	
分解を行う前に、「1. 安全のために必ずお守りください」、「2. 各部の名称」、「3. 部品の確認」、「5. ベッドの組立手順」をよく読んでおいてください。	
分解の組み立ての際には、部品の上にのらないでください。 部品の変形や破損の原因となります。	

- ベッドフレームを分解するときは、組み立てと逆の作業を行います。
- フレームを固定するためのバンドやヒモ（約 90cm×1 本）をあらかじめ用意しておいてください。

ベッドフレームを分解するときは、以下の手順で行います。

1. 分解前の準備

- ① 手元スイッチを操作して、背ボトムと脚ボトムを平らにします。
- ② 手元スイッチを操作して、ベッドを一番低い位置にします。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜きます。

2. ヘッドボードとフットボードの取り外し

- ① 4箇所の抜け止めネジをゆるめます。
- ② ヘッドボードとフットボードをベッドから取り外します。

3. 背ボトムと脚ボトムの取り外し

- ① 脚ボトム裏側のミゾからフットリンクを外します。
- ② 化粧ネジ（4箇所）をゆるめます。
- ③ 脚ボトムを取り外します。
- ④ ギャッチリンクを手で立て、背ボトムを持ち上げながら、取り外します。

4. 手元スイッチのコードと電源コードの処理

- ① コードサドルから手元スイッチのコードを外します。手元スイッチはギャッチモーターの近くにまとめておきます。
- ② 電源コードをギャッチモーターの近くにまとめておきます。

5. リフトモーターの接続解除

- ① ギャッチモーターに接続されているリフトモーターの連結コードを抜きます。連結コードはリフトモーターの近くにまとめておきます。

6. ギャッチモーターの取り外し

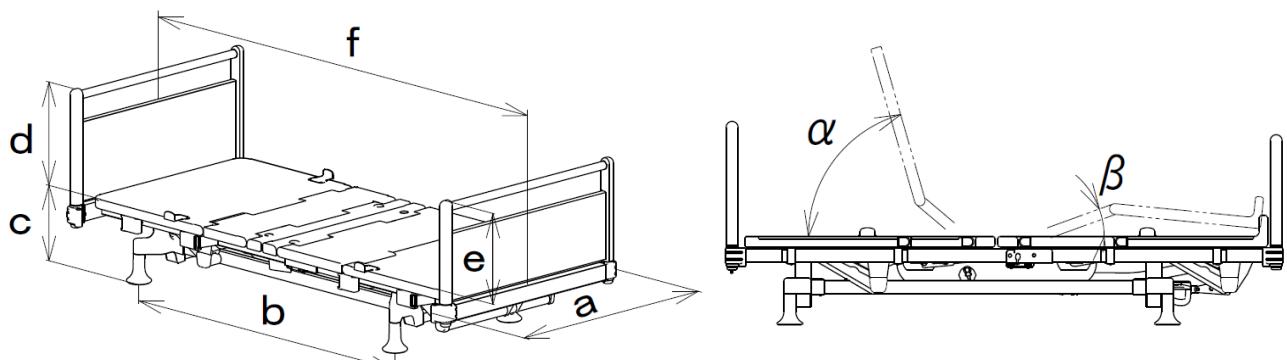
- ① ギャッチストッパー（4箇所）をギャッチモーター受けから取り外します。
- ② 手元スイッチのコードと電源コードがベッドに引っかからないことを確認して、ギャッチモーターをベッドから取り外します。

7. 脚部の取り外し

- ① 六角レンチ（対辺4）で、コティアシ用ネジをゆるめて、脚部を取り外します。

以上で分解作業は終わりです。取り外した部品はなくさないように大切に保管してください。

11. 仕様

電気定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50/60 Hz
	定格消費電力	100W (連続使用時間 2 分)
ベッド寸法	a : 幅 (最大外径寸法)	97.5cm
	b : 脚座間の長さ (脚部の取り付け位置の距離)	125cm
	c : ボトムの高さ (床からボトム上面まで)	33.5~63.5cm (29 コティアシ JJ 使用時) 28~58cm (24 コティアシ JJ 使用時) (ストローク : 30cm)
	d : ボトム上面からヘッドボード (フレーム) の上端まで	43.5cm
	e : ボトム上面からフットボード (フレーム) の上端まで	38.5cm
	f : 長さ (最大外径寸法)	184.5cm
背部、脚 (ひざ) 部	α : 背部の最大傾斜角度	77 度
	β : 脚 (ひざ) 部の最大傾斜角度	28 度
 <p>本体の形状</p>		
材質	フレーム	鋼管、鋼板、アルミ エポキシ樹脂粉体塗装 樹脂成型品
	ボトム	抗菌剤入ポリプロピレン樹脂

重量	FBN-R20SS ANB29	約 72kg
	FBN-R20SS ANB24	約 72kg
	FBN-R30SS ANB29	約 73kg
	FBN-R30SS ANB24	約 73kg
電源コード長さ		モーター出口より 3.5m
脚部	29 コティアシ JJ	取り付け高さ 11.5cm 樹脂成型品
	24 コティアシ JJ	取り付け高さ 6.5cm 樹脂成型品
最大利用者体重		1350N (約 135kg)
安全使用荷重		1700N (約 170kg)
マットレス の寸法、重量		最大幅：85cm 最大長さ：169cm 最低厚さ：3cm 最大厚さ：19cm 重量：20kg 以下
騒音	80dB(A)以下 (※JIS T9254 9.9 騒音試験 により測定)	

※ マットレス重量が 20kg を超える場合は、使用者の体重との合計が 155kg 以下で使用してください。ただし、使用者の制限体重は 135kg です。

12. お手入れ方法

ベッドをお手入れするときは、下記に注意して行ってください。

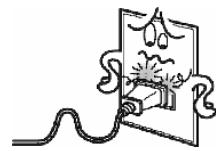
⚠ 警告

お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



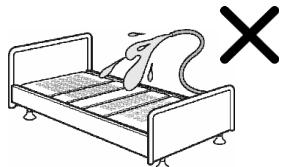
感電する恐れがあります。

電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。

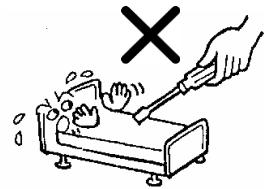


電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。

お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。



感電、異常動作の原因になります。



ご自分で分解、修理、改造はしないでください。

火災、感電、異常動作の原因になります。

⚠ 注意

定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。
また、破損状態での使用を避けてください。



事故の原因となります。

ベッドを保管するときは、背ボトムと脚ボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。



下げた位置で保管しないと故障の原因となります。

汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものおよび、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。



変色、変質、商品を傷める原因となります。

高温、多湿、ほこりの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。	
ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。	

- ベッドフレームは、乾いた柔らかい布で拭いてください。しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹼水で拭き取り、その後で乾いた布で拭いてください。揮発性のものは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。
- ベッドフレーム（木製部分含む）は水拭きせず、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- ネジ類がゆるんでいないかどうか、時々確認してください。ゆるんでいたら、締めてください。
- 手元スイッチを清掃するときは、必ず電源を抜いてください。溶剤や、洗剤の原液を使用せずに、中性洗剤を薄めて硬く絞った布で拭いてください。十分乾燥時間をおいた後に電源プラグをコンセントに差し、必ず動作確認を行ってください。
- 電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜き、乾いた布で刃および取り付け面を拭いてください。

13. 点検

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレール等の付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。ベッドの状態を一番よく把握しなければならないのはご購入者様ご自身であり、日頃の点検等の適切な管理が必要となります。

多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や磨耗が進みます。点検を行うことにより、大きなトラブルを防止し安心して使用することができます。

1. 外観点検項目

目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

- ヘッドボード、フットボード、ボトム、脚部、サイドレール、ベッド用グリップに異常がないか確認します。
- ネジ、ピン、抜け止め部品などが確実に取り付けられているか確認します。
- ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- 電装部品（手元スイッチ、モーター）のコードやケースに損傷があるかを確認します。

2. 作動点検項目

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- 表示（ランプ）は仕様どおり点灯するか確認します。
- 機能どおり動作するか確認します。
- 動作時に異音の発生がないか確認します。

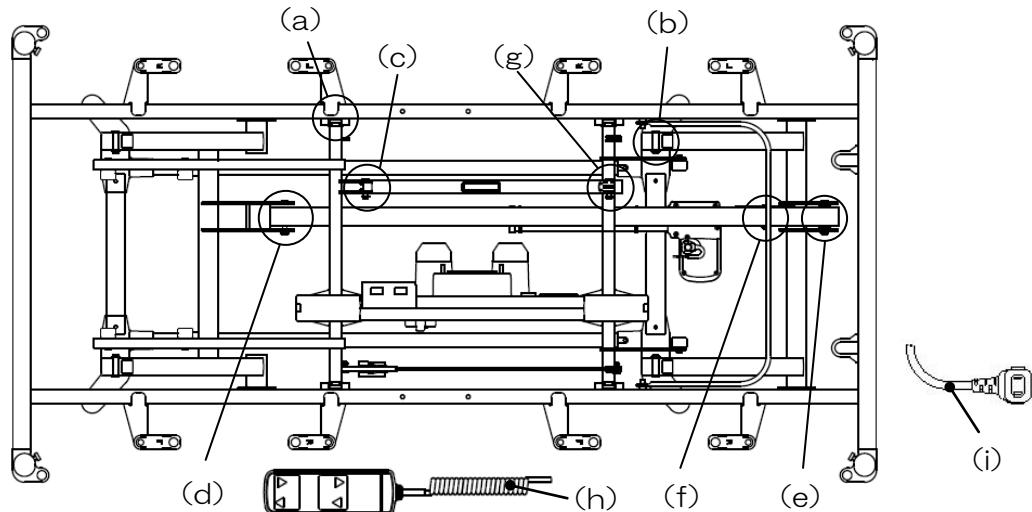


ベッドの使用中や点検時に不具合を発見された時には、まずはベッドのご使用を控えるか、場合によっては使用を一時中断し、速やかに販売店又は弊社お客様相談室に故障状況を報告し、修理を依頼することが適切です。

ご自身による故障の修理等は絶対に行わないでください。

3. 点検および調整

長期にわたってより安全にご使用頂く為に、以下の項目を点検、調整を行ってください。



グリスアップ

可動部にグリスを塗ります。基本的には異音が発生しなければその必要は有りません。

- (a) ギヤッチモーターの回転箇所（4箇所）
- (b) ハイローリンクとベースフレームを接続しているピン（4箇所）
- (c) 背下げ補助ダンパーを接続しているピン（1箇所）
- (d) レンケツバーとハイローリンクを接続しているピン（1箇所）
- (e) レンケツバーとハイローリンクを接続しているピン（1箇所）
- (f) リフトモーターを接続しているピン（2箇所）

ネジの点検

使用条件によってはネジがゆるみ、ベッドがぐらつくことがあります。以下のネジ部を点検してください。

- (g) セーフティーカラー取り付けネジ（下部2箇所）

コードの確認

各種コードが痛んでいないか確認してください。

- (h) 手元スイッチのコード
- (i) 電源コード

14. 消耗部品

ベッドは保守部品と消耗部品で構成されています。保有期間は製造販売終了（中止）後 8 年です。このベッドの主な消耗部品は以下の部品です。使い方によっては、使用期間が短くなることがあります。

部品名称	想定される故障の原因
手元スイッチ (コードを含む)	<ul style="list-style-type: none">● サイドレールに巻き付けるなどしてコードに想定以上の荷重が加わったため、コードが断線する。● 床に落とした状態で引きずったため、コードが断線する。● コードを踏んだため、コードが断線する。● 指以外で操作したため、手元スイッチが破損する。
電源コード	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、コードが断線する。● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、電源プラグが破損する。
モーター	<ul style="list-style-type: none">● 安全使用荷重以上の状態で使用したため、モーターが破損する。
各種ピン類	<ul style="list-style-type: none">● 想定以上の荷重の繰り返しや油切れのため、各種ピン類が磨耗する。

15. 耐用期間

耐用期間とは消耗部品の交換や修理を繰り返し行うことで品質、安全性が維持できる期間です。指定された保守点検を実施し、指定された使用条件下で使われた場合の耐用期間は8年です。但し保守点検状況により差異が生じことがあります。

※ 耐用期間は保証期間ではありません。

16. こんなときには

ベッドが動かない場合、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない（指定の動作をしない）。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	差込口から手元スイッチコードの先端が外れていませんか？	手元スイッチコードの先端を差込口に差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。修理の依頼をしてください。
	手元スイッチの裏側の安全スイッチのマークがOFF(切)の位置になっていませんか？	切替レンチで、安全スイッチのマークをON(入)の位置にしてください。
	緊急時の解除レバーが「解除」になっていませんか？	解除レバーを戻してください。
	手元スイッチのボタンを、同時に2つ押していませんか？	各ボタンを1つずつ押してください。
手元スイッチのボタンを押すと、パイロットランプが点滅する。	販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。	
ベッドが昇降しない。	リフトモーターの連結コードがモーターに確実に差し込まれていますか？	リフトモーターの連結コードをモーターに確実に差し込んでください。
	ベッドの周囲に障害となるものがありますか？	障害となるものを取り除いてください。
	ベッドが過負荷になっていますか？	安全使用荷重を確認して使用してください。

症状	チェック項目	対処方法
ボトムが水平にならない。	組み立てが正しく行われていますか？	正しく組み立て直してください。
	ボトムとサイドフレームの間に掛け布団や毛布などが挟まれていませんか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれた物を取り除いてください。
ベッドがガタつく。	ロックネジがゆるんでいませんか？	ロックネジを確実に締めてください。
	ヘッドボード、フットボードは正しく取り付けられていますか？	ヘッドボード、フットボードを正しく取り付け直してください。
ベッドの動きが正常でない。	抜けている固定ピンなどはありませんか？	抜けている固定ピンなどがないか確認してください。抜けている場合は、確実に差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。電源プラグをコンセントから抜き、修理の依頼をしてください。
ベッド昇降時に異音がする。	ベッドを操作する部屋の温度は何度ですか？ 温度がかなり低い場合、昇降動作のとき昇降用モータから音がする場合があります。	ベッドを操作する部屋の温度を常温（15~35°C）にしてください。 また、気温の低い場所から、移動した際などは、昇降動作を2、3回繰り返すと音はしなくなります。

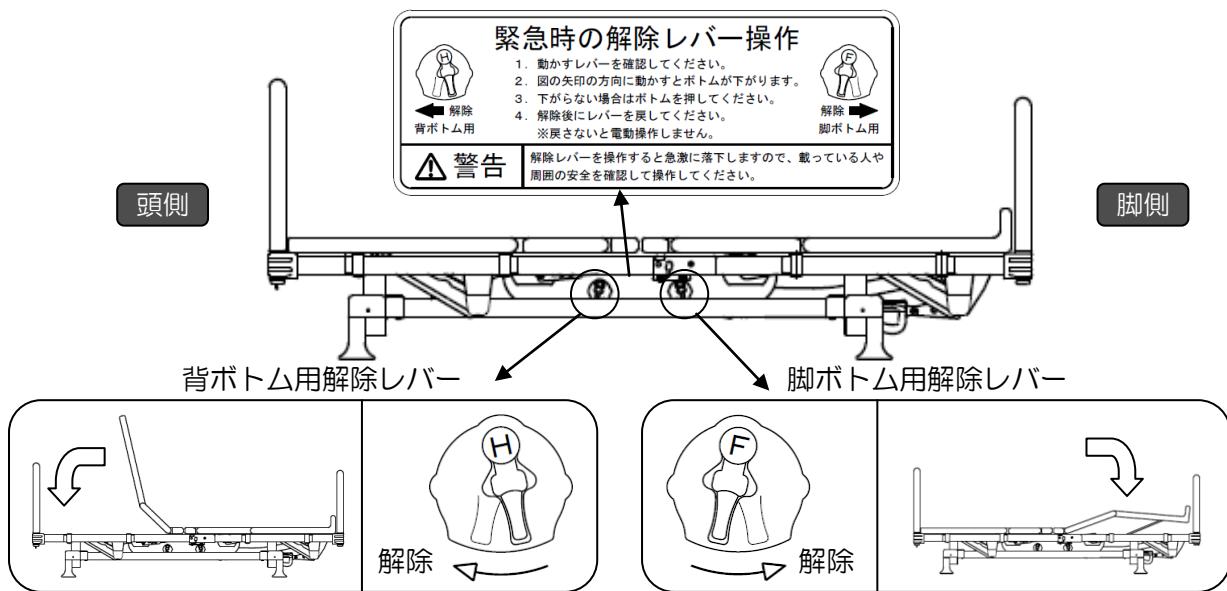
17. 停電により停止したときに

停電や故障により背ボトムや脚ボトムが起きたまま停止してしまった場合に、上がっている背ボトムや脚ボトムを水平位置に戻すことができます。（※昇降機能は解除できません。）

○ 解除レバーの操作方法（ベッド右側より解除レバーの操作ができる場合）

- ① 作業を始める前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 解除レバーはベッド頭側からみて右側、ギャッチモーター側面にあります。頭側が背ボトム用解除レバー、脚側が脚ボトム用解除レバーになります。
- ③ 解除レバーを操作する際は、なるべくベッドに人が乗っていない状態で行ってください。乗っている方がいる場合は、解除レバーを操作した後に急激にボトムが落下しないように、一人がボトムを支えた状態で、別の方が解除レバー操作を行ってください。
- ④ 背ボトムを水平にする際は、背ボトム用解除レバーを左に回してください。脚ボトムを水平にする際は、脚ボトム用解除レバーを右に回してください。解除レバーは奥までしっかり回してください。
(※2モータータイプには、脚ボトム用解除レバーはありません。)
- ⑤ 解除レバー操作後、ボトムを上から押し下げてください。

ボトムを水平に戻した後は、解除レバーを元に戻してください。戻さないと次にご使用になるときに電動操作ができません。



18. アフターサービスについて

保証書および保証期間について

● 保証書

所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

● 保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。

● 保証期間を過ぎて修理を依頼する場合

修理すれば使用できる場合は、希望により有料で修理いたします。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

お客様相談室

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

お客様相談室



フリーダイヤル：0120-39-2824

受付時間：月～金曜日 9時～12時 13時～17時

(土、日、祝祭日、年末年始、弊社指定の休日などは除く)

製造元：フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

19. 保証書

保証書

保証期間

1年

お買い上げ日

平成 年 月 日

お客様

ご芳名

〒□□□-□□□□

ご住所

TEL

販売店

店名・住所

見本

法的責任 この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は相談窓口にお問合せ下さい。

保証の対象

本体のみ行います。

保証の態様

- (1) 保証期間内において、この製品に製品上の欠陥が発見された場合には無償修理をいたします。
- (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又は相談窓口にご連絡下さい。
- (3) 遠隔地等については、旅費を申し受けがります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、保証書及び納品書又は領収書を提示して下さい。

- ※ 本保証書と納品書又は領収書を併せて保管をお願いします。
- 保証書適用除外
- (1) 保証書及び納品書又は領収書のご提示がなかった場合。
- (2) 製品使用或いはお取扱い上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
- (3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造・改造された場合。
- (4) ご購入後の移動・輸送によって故障又は損傷が生じた場合。
- (5) 火災・天災・地変によって故障又は損傷が生じた場合。
- (6) 本製品の製造上に起因した欠陥であるか、確認できない場合。

※ 上記項目については有償修理になります。

フランスペイド株式会社

